

イースタン州立刑務所史跡  
オーディオ・ツアー・スクリプト

## 見所リスト

1. イントロダクション  
位置：砂利海岸から監獄棟1へ
2. 東部刑務所以前の刑務所  
位置：入り口から復元された独房へ  
監獄棟1内
3. 最初の近代的建物
4. 囚人の生活
5. 隔離の効果
6. 結果  
位置：復元された監獄棟1からセンターへ
7. イースタン州立刑務所への反応  
位置：監獄棟7
8. 隔離の終了
9. 20世紀
10. 終わりに  
位置：球技場

## ランダム・アクセス・ツアー

11. ドナルド・ヴォーン:スポーツ
12. ショーン・ケリー:監獄棟 14
13. 階層監獄棟 14
14. ディック・フルマー:有名な収容者:ペップザドッグ
15. ブレット・ベルトリノ:有名な収容者:「スリック  
ウィリー」サットン
16. エリザベス・ウィリアムソン:  
有名な収容者:クラレンス・クラインディンスト
17. (A) ショーン・ケリー:有名な収容者:エルモ・スミス
18. ローラ・マス:シナゴーク
19. ドナルド・ヴォーン:20世紀の宗教
20. ラティーフ・オークマン:アル・カポネの独房(考古学)
21. エリザベス・ウィリアムソン:アル・カポネの釈放
22. ショーン・ケリー:死刑囚棟(監獄棟15)
23. ブレット・ベルトリノ:脱獄!1945年のトンネル脱獄
24. エリザベス・ウィリアムソン:  
脱獄!1923年のレオ・キャラハン脱獄

25. ディック・フルマー:ザ・ホール(「クロンダイク」)
26. チャールズ・アダムズ:ゴースト:「イースタン州立刑務所はゴーストが出没?」
27. スティーブ・ブシェミ:イースタン州立刑務所での撮影
28. サリー・エルク:なぜこの場所を修復しないのか?
29. アーウィン・シュマックラー:床屋
30. ドナルド・ヴォーン:温室
31. (C) ディック・フルマー:セクシャリティ (20世紀の問題)
32. (B)ノーマン・ジョンストン:セクシャリティ (19世紀の問題)
33. ドナルド・ヴォーン:厨房
34. ショーン・ケリー:今日の刑務所の食事
35. ショーン・ケリー:今日の独房監禁
36. 米国の刑務所の人種問題
37. サリー・エルク:イースタン州立刑務所の廃墟
38. エヴァ・ガトウェイン:病院

39. ラティーフ・オークマン:アル・カポネの独房（復元）
40. ヘンリー・エンクラー:イースタン州立刑務所で出生
41. ドナルド・ヴォーン:取り入れ口
42. サリー・エルク:囚人運動場
43. ケリー・オターソン:イースタン州立刑務所の女性囚人
44. フランシス・ドラン:刑務所暴動
45. ショーン・ケリー:ジョージ・ノーマン
47. (D)シンディー・ストックトン・ムーア:その他の不在
48. ウィリアム・クローマー:GTMO
49. 今日のGTMO
50. ニック・ジレット:シドニー・ウエア
51. グレグ・クーパー:スペシメン
52. ジェス・パーリッツ:合唱
53. ミッシェル・ハンデルマン:リリー法に注意
55. イースタン州立刑務所の少年犯罪者
57. ジェシー・クライムズ:APOKALUPTAIN:16389067:II
58. ジェシー・クライムズ:APOKALUPTAIN:16389067:II (延長)

59. ショーン・ケリー:カポネの独房（更新！）
60. アニー・アンダーソン:LGBTQの反映
61. アレグサンダー・ローゼンバーグ:  
イースタン州立刑務所の登攀ガイド、あるいは建物を登って  
脱獄する方法
62. ベンジャミン・ウィル:紙飛行機
64. デイック・フルマー:有名な収容者:ペップザドッグ（延長）
67. 刑務所島:電気たこ
68. レイチェル・リブダレン:ドリス・ジーン
91. 壁の後ろの恐怖

## 1. イントロダクション

**スティーブ・ブシェミ :**  
イースタン州立刑務所へようこそ。

まもなく監獄棟に入りますが、ツアーはこの砂利に覆われた場所  
で始まります。

私は俳優および監督のスティーブ・ブシェミです。私は刑務所ツ  
アーのガイドの一人です。さらに、元収容者、看守、およびこの  
歴史的な建物を研究し保存した人々もガイドとして登場します。  
オーディオの音声は実際の人々の声です。

**匿名収容者5:**  
私は死ぬほど脅えていました。何が起こるかまったくわかりませ  
んでした。

**リチャード・グリフィン、看守 :**  
わかりやすく伝えていました。囚人が私を傷つけようとするなら  
ば、殺すと。目には目をと。

**ジェシー・ディググリエルモ、収容者:**  
壁の外は25から30フィートの高さです。内部では、60あるいは7  
0フィートに感じられました。

**ノーマン・ジョンストン、社会学者 :**  
イースタン州立刑務所が、歴史上最も影響力の大きな刑務所だっ  
たことに、疑問の余地はありません。

**スティーブ・ブシェミ :**  
監獄棟に入る前に、外部の壁に面する、高いコンクリートの道を  
通ります。

私が、最初にイースタン州立刑務所へ来たのは、1999年のことです。私は撮影ロケ地を探して、この壮大な廃墟を見つけ、驚きました - 近代都市の真中にある静かな場所です。

今、ツアーでは、道に沿って高くなったコンクリート面を歩いています。世界初の真の刑務所の内部です。ここは、犯罪者に懺悔と、真実の後悔をうながすよう設計された建物です。建築家は、人間がみな振る舞いにかかわらず、よい心を持っていると信じていました。

彼らは、イースタン州立刑務所が人間へのこうした楽観論および信頼に基づき、世界的に新しい時代の刑務所を広めることを目指していました。内部では、イースタン州立刑務所は進歩的で空想的ですらありました。

しかし外部では?このイラストは隔離された丘の頂上にたつ、オープンから1年後のイースタン州立刑務所を示します。壁をご覧ください。壁は高さ30フィートです。さらに地下にも10フィートの壁があります。

屋根の輪郭を横切る狭間胸壁、塔をご覧ください。外部では、この建物は、城、要塞、地下牢獄です。

#### 俳優:

「刑務所までの道は、山脈と泥沼のある暗い難路がよいでしょう。ドアは鉄製で、開閉のきしみ音は、魂を深く貫通するでしょう。」

ベンジャミン・ラッシュ、1787

**スティーブ・ブシェミ :**

初期のフィラデルフィアから数マイル余りはまれた寂しい丘の頂上にある、この重厚な建物は、景観を支配し、都市の犯罪者に対する厳格で物理的な処罰として設計されました。

しかし、刑務所のゴシック・リバイバル建築はほとんど景観向けです。管理棟の上部を横切った狭間胸壁は足首の高さまでしかなく、戦いで実際の防御を担うあるわけではありません。また、今日の刑務所に近づくと、表壁を裂くように並ぶ矢の形の高窓が見えたかもしれません。これは城でよく使われた窓です。これらもまた偽物です。こんどは内部から巨大な壁を見ると、窓枠がこののっぺりした堅固な壁に届いていないことが分かります。

高くなったコンクリート面を出て、すぐ近くにある左の車道を進んでください。

監獄棟1の入口に着いたら、コーナーガイド・タワーの下の庭で、音声ガイドの「2」と緑の「再生」ボタンを押してください。

## **2. 監獄棟**

### **1:東部刑務所以前の刑務所/最初の近代的建物/隔離の影響**

**スティーブ・ブシェミ :**

これは監獄棟1です。1829年にオープンしました。中に入ってください。時間をとって周囲をご覧ください。

右側にイラストがあります。イースタン州立刑務所の前に、犯罪者はフィラデルフィアのウォルナット通り刑務所などに収監されていました。男性および女性、大人、および未成年者、窃盗の軽犯罪から銃犯罪の殺人者までのさまざまな囚人が同じ刑務所に収監されていました。混み合った暖房のない監獄に収容され、争い、脱獄を試みていました。

しかし、これらの刑務所は劣悪でしたが、刑罰を与えることを目指してはいませんでした。これらは単に刑罰を待つ囚人の留置所でした。鞭打ち、棒打ち、市中引き回し、重い罰金、公開処刑-これらは1700年代の典型的な刑罰でした。

当時のアメリカの多くの有名人がこうした刑務所の条件を憂慮しました。かれらはアメリカ独立戦争直後にベンジャミン・フランクリンの家で話し合いを開きました。その組織は、18世紀らしい壮大な名前がつけられていました:その名前は、「公共刑務所の苦難を緩和するためのフィラデルフィア協会」です。彼らは、世界で最初の刑務所改革派でした。

彼らは、静かに罪と向き合う必要とされる時間さえあれば罪人でもよい性質を再発見することができるかと信じていました

初期の刑務所改革派は、独房の収監を罰としてではなく、1つの反省の機会と考えていました。後悔し更生する機会です。

このツアーはこの廊下の右側にある、1830年のイースタン州立刑務所の展示に続きます。ツアーを続ける準備ができたなら、音声ガイドの「3」と緑の「再生」ボタンを押してください。

### 3. 最初の近代的建物

### スティーブ・ブシェミ :

この巨大な構造を設計したのは誰だったのでしょうか。ペンシルバニア州では建築コンペを開催し、100ドルの賞が、英国で教育を受けた建築家ジョン・アビランドに与えられました。彼は大きな課題に直面しました:

ただ一つの厳格な監獄の中に何百もの囚人を拘留することです。今では簡単に思えることでも、1829年には、ホワイトハウスでさえも水道がありませんでした。アンドルー・ジャクソン大統領も、室内用便器を使っていました。極めて裕福なアメリカ人も木製または石炭の暖炉で暖を取っていました。

この模型は、1830年当時のこの廊下の断面図です。ここでは囚人がそれぞれ自分の独房(およそ8×12フィート)を持っており、ベッド、仕事台と鑄鉄トイレがあり、トレイは一日に一度水で洗い流されていたことにご注目ください。

建築家デービッド・コーネリアスは、1983年以来これらの建物を研究してきました。彼は、この廊下の下の共同溝も調査しました。

### デービッド・コーネリアス:

下水道からの脱獄も実際にありましたが、多くはありませんでした。囚人は、通常もっと容易な脱獄方法を見つけました。自宅のお手洗いから脱獄を試してみませんか。[笑]

### スティーブ・ブシェミ :

思い出してみてください。これらの監獄棟が新しかったころは、目を奪う教会のような外観がありました。独房には木張りの床とまるで礼拝堂のような高いアーチ形天井がありました -

「デッドアイ」と呼ばれる円形の天窗でした。

独房の後部には、小さなドアがありました。ドアは、独房自体よりわずかに大きな囚人運動場に開かれていましたが、外は空中に面していました。

モデルで、独房と私たちが立っている中廊下をつなぐドアがないことに注目してください。

今のようにこの廊下に並んでいるドアは1850年代に加えられました。もとは、食べ物を出し入れする「フィード穴」という小穴だけがあり、それを通して収容者に食事を渡していました。もとは、独房と出入りするただ一つの方法は囚人運動場ドアでした。

独房は、監獄棟のはずれの小さな小屋にある炉によって暖房が行われていました。モデルの後部にこの小屋を見ることができます。

アビラントは、囚人を、それぞれ隣の囚人と完全に分離する刑務所システムを設計しました。大勢の粗暴な泥棒や売春婦のいた時代は去りました。また、監獄病と呼ばれた発疹チフスも抑えることが期待されてきました。再び、建築家デービッド・コーネリアスの言葉をお聞きください。

### デービッド・コーネリアス:

1830年代には、細菌は基本的に知られていませんでした。人々は、汚れた気体によって病気が広まると信じました。またこれはそう大きく外れてはいません。アビラントの建物がうまくいかなければ囚人は死んでしまいます。ぜひとも成功させねばなり、あせませんでした。1830年代にはこれは宇宙船を設計することと等しい難事業でした。生命維持のための装置をすべて提供しなければなりませんでした。

スティーブ・ブシェミ :

ジョン・アブランドはアメリカで最初の真に現代風の建物を建造しました。しかし、それは犯罪者の更生に本当に役立ったのでしょうか。ツアーを続ける準備ができたなら、音声ガイドの「4」と緑の「再生」ボタンを押してください。

#### 4. 4. 囚人の生活

スティーブ・ブシェミ :

廊下のこの部分は1830年の様子に復元されました。

イースタン州立刑務所中の囚人で最も多い犯罪は強盗、建造物侵入罪、馬どろぼう、偽造、殺人でした。刑期は、いっぽんに、わずか2年前後で、8年を超えるものはほとんどありませんでした。当時、「終身刑」のようなものはありませんでした。また、死罪を宣告されたものは他の刑務所に送られました。

復元された独房の内部をご覧ください。1829年に隣人の馬を盗み有罪判決を下された、22歳の白人の庭師ジョン・カリンの場合です。彼は2年の刑を受けて、6セントの罰金を科されました。彼はイースタン州立刑務所の囚人No.6でした。

彼が刑務所に収監されると、看守は頭にフードをかぶせ、刑務所のレイアウトを覚えられないようにしました。また、刑期を終えた他の囚人にも顔を覚えられないようにしていました。独房の外ではかならず頭にフードがかぶせられていました監獄棟1に拘留された2年間で、ジョン・カリンが別の収容者に会うことはありませんでした。

カリンは独房の内部で1日に23時間過ごしました。彼は、礼拝堂の牧師あるいは「監督者」と呼ばれる看守以外とは、話をするこ

とを認められませんでした。カリンは独房の中で眠りました。彼は、独房の中で1日3回の食事を取りました。また労働もしていました。囚人は椅子、織物、その他に染め布を作っていました。

アレン・フィッシャーという監督者が、ジョン・カリンに靴作りを教えていました。独房の作業台で靴製造具を見ることができません。

ジョン・カリンは、1冊の本だけが与えられていました。聖書です。彼は文字を読むことができました。ほとんどの囚人は文字を読むことができませんでした。彼は家から手紙や、新聞を受け取ることはできず、面会もできませんでした。

カリンは、1日当たり2回の半時間の休憩を与えられました。彼は、独房の後ろの鉄のドアを通り抜け囚人運動場に出て、外気を呼吸し日光を浴びることを認められました。2～3週ごとに一度、彼は囚人運動場に入浴に連れ出されました。

カリンの独房を出て、廊下を登り続けてください。ツアーを続ける準備ができたなら、音声ガイドの「5」と緑の「再生」ボタンを押してください。

## 5. 5.隔離の効果

スティーブ・ブシェミ :

ドアの開いている独房に入ってみてください。すでにコンクリート床と現代式トイレに改修されていますが、独房の様子を知ることができます。イースタン州立刑務所での規則は隔離だけでなく静寂でした。20インチの石壁が各独房を分離していました。また、廊下を歩く看守は、足音をなくすために靴の上から羊毛ソックスを着用していました。

監視員の記録では、静寂の規則を破ると罰が与えられていました。

**俳優:**

「1835年1月27日:私は、温水管の側に沿って作られた穴から6人の囚人が話をしていることを発見しました。」

「1840年8月11日:女性の囚人1050が、他囚人の邪魔をし、大声を上げた治安紊乱行為でパンと水だけ暗い独房に収監されました」

「1840年6月27日:102番の囚人は隣の囚人と何度も話していることを見とがめられたため拘束衣と口止めを注文しました。」

**スティーブ・ブシェミ :**  
それは困難な時代でした。

**俳優:**

「陰うつな独房の暗い孤独の中で、更生できるような原理はありません。囚人は精神異常すれすれでした」

収監者ジェームズ・モートン

**スティーブ・ブシェミ :**  
ツアーを続ける準備ができたなら、音声ガイドの「6」と緑の「再生」ボタンを押してください。

## 6. 結果／刑期前の脱獄

**スティーブ・ブシェミ：**

監獄棟1の廊下に戻りましょう。鉄のゲートを通して廊下をゆっくり登り続けてください。アーチ形の出入口に到着する前に止まってください。

イースタン州立刑務所は当時の世界最大で最も野心的な刑務所でした。そして少なくとも短い間、イースタン刑務所の看守たちは正しい更生を実行していると思っていました。

しかし収監者は後悔し、よい市民になったでしょうか。何が馬泥棒ジョン・カリンの身に起きたでしょうか。

刑務所の記録はカリンが1831年11月17日に刑期を終えことを示します。

**俳優：**

「ジョン・カリンは25日に刑務所を出たと監視員は報告しています。私は彼の冷静でよい行いを喜んで証言し、私たちは、彼が更生したという合理的な期待を持っています。」

**スティーブ・ブシェミ：**

しかし、写真や指紋採取を利用できない時代には、刑務所スタッフは、服役後収容者を追跡する方法を持っていませんでした。イースタン州立刑務所の成功は証明されていませんでした。

ツアーはアーチ形出入口を通して円形の部屋の内部に続きます。この部屋は「センター」と呼ばれていました。回りをご覧ください。

建築家ジョン・アビランドは車輪のハブとスポークのようにこの中心点から放射する、7つの1階建ての監獄棟をもつ刑務所を構想しました。この部屋から、1人の監督者がそれぞれの方向を見渡し、廊下をすべて見ることができました。

ここまで、ツアーは監獄棟1を通過してきました -

最初の棟のツアーはここで終わりです。監獄棟2には1923年まで女性服役者が収容されていました。監獄棟3はその後病院ブロックになりました -

鉄のゲートの中心に小さな円の中にある聖ジョージ十字章を見ることができます。アル・カポネは、ここで1929年に扁桃腺手術を受けました。

ジョン・アビランドの当初の計画は驚くほど小さな規模で、収容者は256人でした。州では収容数を増やそうとし、建築家は、監獄棟4、5、6および7では、2階建ての監獄棟を建築せざるをえませんでした。

この部屋のモデルは1836年に完成した刑務所を示しています。ここでは建物の規模を見ることができます。(0.5マイルの壁に囲まれた10.5エーカーの広さで、オリジナルの設計がかなりオープンなスペースだったことがわかります。

これも時代とともに変わりました。

ツアーは、監獄棟の上の

「ギャラリー」と呼ばれる狭い通路に続きます。次は監獄棟7に進んでください。監獄棟の番号はゲートに書かれています。準備ができたなら、音声ガイドの「7」と緑の「再生」ボタンを押してください。

## 7. 反応

### スティーブ・ブシェミ：

現在監獄棟7の中にいます。右上の階段を上ってください。階段は険しいので手摺りを使用して、ゆっくり上ってください。ギャラリーからは30フィートの、樽アーチ型天井のある大きな監獄棟が見えます。これは刑務所で最も見るべき場所のうちの1つであると私は思っています。

この建物で開発された隔離システムは、「ペンシルバニア・システム」として広く知られるようになりました。また、特にヨーロッパおよびヨーロッパの植民地で熱心に取り入れられました。

数多くの政府高官が、この建物の視察にフィラデルフィアを訪れました。また、5つの大陸でおよそ300の刑務所が、イースタン州立刑務所にならって建設されました。巨大な規模、優れた水道とおよび集中暖房システム、そしてその革命的な囚人隔離システムで、イースタン刑務所は、独立記念館をしのぐほどの観光名所となりました。

しかし、すべての見学者が感動したとは限りませんでした。イギリスの作家チャールズ・ディケンズは、アメリカで最も見たかった2つの観光地は「ナイアガラの滝」とイースタン州立刑務所であると書いていました。

### 俳優：

「私は、このように日々を損ない、脳の神秘を冒涇することは、どんな身体的拷問より耐えがたいほど悪いと考えます。」

チャールズ・ディケンズ、1842

**スティーブ・ブシェミ :**

ディケンズは、イースタン刑務所での隔離によって頭がおかしくなってしまうかもしれないと思っていました。また、こうした意見は彼一人だけではありませんでした。

ツアーを続ける準備ができたなら、注意して別の階段から下りてください。ツアーは、左手の鉄の門を通過して続きます。囚人の縞の服の写眞があります。次の展示室に着いてから、音声ガイドの「8」と緑の「再生」ボタンを押してください。

## 8. 隔離の終了

**スティーブ・ブシェミ :**

静寂と隔離に基づいたペンシルバニア・システムは、シング・シングで開発されたもう一つのモデルである、ニューヨーク・システムと競いあっていました。これはこの写眞に示されます。ニューヨーク・システムでも囚人は静寂が義務づけられていましたが、ニューヨークでは、工場のような作業場で、話をせずに他の囚人と一緒に働き、口を開くことなく巨大な食堂で食事をしていました。1800年代の米国の刑務所はほぼすべて、ニューヨーク・システムを採用していました。しかし、ヨーロッパ、南アメリカおよびアジアでは、「ペンシルバニア・システム」が主流でした。

この物理的な隔離のシステムは高価で、管理の負担が大きく、論争的になっていました。発祥のイースタン刑務所でさえ、ペンシルバニア・システムは徐々に破綻していきました。1870年代までには、イースタン刑務所の囚人の半分が相部屋となっていました。

センターに戻ってください。刑務所の職員は、その後イースタン刑務所の収容者を隔離の状態に戻そうとし、オリジナルの7つのスポークの間に新しい監獄棟の建設を始めました。

しかし、ペンシルバニア・システムは最終的に放棄されました。ペンシルバニア・システムが最後に放棄されたのは1913年でした。周囲の廊下はついに会話を許された男性や女性の囚人であふれていました。

このセンターの中で後ろを振り向くと、第一次世界大戦の真鍮の飾り額があります。この額は国に貢献した囚人の収容者番号を記念したたえるものです。

ツアーは監獄棟4に続きます。飾り額の右手の最初のドアを通過して進んでください。次の展示室に着いてから、音声ガイドの「9」と緑の「再生」ボタンを押してください。

## 9. 20世紀

**スティーブ・ブシェミ :**

監獄棟4に入って行って、廊下をゆっくり進んでください。左側に写真がある場所でいったん止まってください。これらは20世紀のイースタン刑務所の実際の音です。

**モーリス・タリー、収容者:**

監獄棟4では約3週間を過ごしました。古い監獄棟で、じめじめと悪臭がしていました。とても冷たい場所に見えました。

### スティーブ・ブシェミ :

1940年までに、イースタン刑務所は終身刑や死刑宣告の囚人も収容する、重警備設備になりました。しかし、囚人たちは、一世紀をへたかつての革命的な刑務所の独房で生きていました。

収監者と看守の実際の声で回想をお聞きください。一部はいまもペンシルバニア州で投獄されています。これらの音声は約5分程度です。音声は壁の写真を説明しています。

### 匿名収容者1:

誰もが、一日のほとんどの時間をさまざまな作業に割り当てられていました。この場所は多くの維持作業が必要でした。囚人によって、電気、配管、塗装、左官工事などが行われていました。また、この場所は古びていました。とても古かったので、多くの維持作業が必要でした。常に仕事がありました...

### 匿名収容者5:

また、監獄棟にはテレビがあったときがありました。テレビの利用にはスケジュールがありました。スケジュール厳守でした。エド・サリヴァン、ジャッキー・グリーンソン、古参の囚人たち...

### ジェシー・ディググリエルモ、収容者:

チェスのプレイをしました。監獄では毎日チェスをしていました。毎日、時間さえあればプレイしました。また、私が看守のスローンにチェスを教えました。スローンはチェスが好きでした。

私たちは、何時間も座っており、当然、スローンは仕事をしていました。しかし、私たちは、外の机に座っており、彼は監視の仕事をしなければなりませんでした。

### リチャード・グリフィン、看守：

一部の囚人は他の囚人をいじめていました。また、彼らは、横柄にふるまっていました。しかし、仕返しも少なからずありました。これは街の中のもう一つの街のようでした。

### 匿名収容者2:

収容者どうしのバスケットボールチームがありました。しかし、外部の試合では強くはありませんでした。そもそもチーム精神がありませんでした。白人と黒人の対立がありました。対立したまま試合をしていました。しかし時間とともに、協力するようになり、よりよいチームになりました。

### チャールズ・ギンドル、収容者:

私が刑務所に来たばかりの時フットボールをしたいかどうか尋ねられたので、私はやりたいと言いました。独房に入った私は着替えましたが、他の人とジャージの色が違いました。私は黒人チームでプレイした初めての白人で、クォーターバック以上にバックフィールドに攻め込んでいました。

### フロイド・ウィルソン、看守:

私たちは、プエルトリコの男をイースタン州立刑務所に収監しました。また、あるブロックに黒人、別のブロックに白人を収監していたので、彼をどちらに収監すべきかわからなかったと思います。私がいた頃、黒人と白人が同じブロックにいたことはありません。

### ジョゼフ・ブライリー、監視員:

組織内の例えば厨房など作業場は、目立って黒人が多かったです。印刷や一部の仕事は、目立って白人が多かったです。私は、最初にすべて作業場所を統合する計画を考えました。ある若い...

**匿名収容者1:**

さて、イースタン刑務所の雰囲気はリラックスしていました。1つには、ここに比較的古参の収監者がいたからだと思います。彼らはイースタン刑務所を家と呼んでいました。看守と収監者の間の雰囲気も非常にリラックスしていました。

**レイ・ベドナレック、看守:**

ここには若者もいました。若者とは、22、23歳くらいの囚人です。多くの若い囚人がいました。

**匿名収容者3:**

これは独房で私が持っていたものです。ベッド、テーブル、ベンチ、木製のロッカーの箱、4つのチャンネルと1セットのイヤホンを持っていました。ここはラジオのあった場所です。また、小用だんすと蛇口もありました。

**匿名収容者1:**

冬は寒く、夏は暑かったです。熱ければ水をかぶったりしていました。独房で窒息しそうな時もありました。また、独房を水浸しにする奴がいました。床がセメントだったので、大量の水を独房床の上にまき散らすのです。

**マシュー・エップス、看守および収監者:**

そこにいなければわからない条件、規則、制限がありました。またどれほど人の状態や他の人のニーズに気づいても、実際に体験するまで、理解することはできません。

**リチャード・パーセル、看守:**

刑務所でうまくいっているときも警戒はゆるめません。脱獄の危険を見張るのです。

**ジョゼフ・ブライリー、監視員：**

セロン・キングは印象的な好感の持てる個人主義者でした。私は彼と多くの会話をしましたが、彼が個人主義者だったこと以外何も知りませんでした。ええ。セロン・キングは、あまり長く彼を収監できないだろうと行っていました。彼は若い無期刑囚チャールズ・スミスと共謀して、脱獄の材料集めを試みしました。私たちは彼を捕らえて、もちろん彼らを引き離しました。

**リチャード・パーセル、看守：**

フランク・フェランは鳥人と呼ばれていました。彼は、犯した犯罪を鼻に掛けていました。フランクは、監獄棟15に収監されていました。彼はそれらから2個の金属片を手に入れ短剣を作り、なくさないように手に隠していました。私たちは最後に彼を処罰しました。人を傷つけるおそれのある、信頼できないタイプでした。

**ジョン・マクロー、収容者：**

看守を殴ると、独房に入る規則でした。平手打ち一回や蹴り一回ではありませんでした。私は、収容者が一度の平手打ちや軽く撲った程度で隔離されたことを見たことはありません。それは不可能でした。そのように規則……

**クリフォード・レドゥン、収容者：**

私が収監された時には、ここを真の恐怖の場所だと思っていました。しかし、アルカトラズは非常に残忍ですが、ここではそうではありません。ここに、多くのよい看守がいました。イースタン刑務所で悪いのは二人だけでした。

**ジェシー・ディググリエルモ ,収容者:**

スローンは私の監獄棟の看守でした。彼は私の保護者のようでした。彼は心が広い人間でした。クリスマスには、彼の妻がクリスマス・デコレーションをすべて外して、私たちのためにクリスマスツリーを差し入れてくれました。

**匿名収容者1:**

つらい時はありました。横たわって叫んだ時もありました。壁の外側で新年のおよび大晦日を祝う人々の声が聞こえましたが...

**ジェシー・ディググリエルモ、収容者:**

それで私は言いました、「このドアの外に一步踏み出せば、この刑務所のドアを出れば、彼らは二度と俺とは会わないだろう。」

「6か月でまた会う」と看守はかつて言っていたからです。

私は、「あんたは歩ける。歩ける」と言いました。

私たち囚人は、外の通りまで3枚のドアがありました。私が外に出たとき振り向いて「仲間よ、これで終わりだ。二度と俺には会わないだろう。」と言いました。

**スティーブ・ブシェミ :**

外に出てから、ツアーの最後の音声ガイドの「10」と緑の「再生」ボタンを押してください。

## 10. 終わりに

**スティーブ・ブシェミ :**

監獄棟4を出てから右に曲がり、建物の側面に沿って歩いてください。最初の低いドアを通ると、イースタン刑務所で初期の数年

間に囚人が運動した小さな庭のうちの1つを見ることができます。

後ろにある、最新の野球場と比べてみてください。

ここに立つと、監獄棟の外で、イースタン州立刑務所が時間とともにどれだけ変わったかを実感できます。狭い通路とサーチライトのある中央の見張り塔をご覧ください。この塔は1950年代に刑務所に加わりました。その後ろには、1820年代に建造された古い石のタワーがあります。そしてその先には、現代のフィラデルフィアのスカイラインがあります。

この建物のアーキテクチャーは刑務所方針の変更とともに改築されましたが、それも十分ではありませんでした。1930年代にさえ、イースタン州立刑務所は問題をかかえていました。刑務所は古び、暖房や配管が劣化していました。廊下や屋外スペースは、膨大な囚人の数に合っていませんでした。劣化した刑務所は、管理がますます難しく、維持作業は高価で、危険となっていました。

州は1960年代に順次イースタン州立刑務所の閉鎖を進め、1971年に、重い前面ドアがロックされました。

...今回は人を中に入れなかったためです。

この大型建築はどうなるのでしょうか。フィラデルフィア市は、刑務所としてこの敷地を再使用することを計画しました。しかし、建物の改築は費用がかかりすぎるということが分かりました。市は、商業用不動産開発のために敷地を売却することを決定しました。1980年代にわたる主な計画は、コンドミニアム、ショッピング・モールあるいは完全な倒壊も含まれていました。

しかし、売却決定の前夜に、歴史的な史跡保護を主張する人々や、犯罪学者およびコミュニティー・リーダーの緩やかな組織が勝利しました。確かに、この世界初の刑務所建物は保存されるべきでした。しかし何のために？

サリー・エルク理事:

サリー・エルク :

私たちは、この驚くべき場所を保存し、廃墟として保全し、また参考としていくつかの場所を復旧しました。

スティーブ・ブシェミ :

史跡プログラム・ディレクター、ショーン・ケリー:

ショーン・ケリー、プログラム・ディレクター:

イースタン州立刑務所が1970年に閉鎖され以来、アメリカの刑務所システムは歴史的な変化を経験しました。これらの変化の多くはこの野球場の真中にある大きなグラフ上で解説されています。

端の「米国の投獄率」と言うグラフからはじめてください。この端からのグラフは、アメリカの全歴史で、刑務所または拘置所に入れられるアメリカ人のパーセンテージが一定だったことを示します。

しかしこれは、イースタン州立刑務所が1970年に閉鎖されたころから、変わり始めました。この年は低い赤い棒によって表わされます。1970、80、90年代の全体にわたり、新しい法律や、より長い刑期の判決によって、獄中の男性と女性の囚人数が劇的に増加し始めました。

上の赤い棒は2010年を表しています。この年までに、米国刑務所の受刑者数は600パーセント以上増加しました。米国の刑務所に

は200万人以上が収監されており、毎年800億ドルがかかっています。

犯罪発生率は、この数十年で変動してきました。犯罪率は、投獄率とはあまり関わりがありません。

さて、右に歩いて、グラフの高い端を見てください。赤い棒の上は、米国の投獄率を表わします。これが世界でもっとも高いことがわかるでしょう。他のすべての国家の割合は下に表されています。

一部の国で囚人の処刑の実行により在監者数を低くしているかどうか、見学者からしばしば質問があります。この質問に答えるために、私たちはこのリストを死刑がある(左側)および死刑がない(右側)国家に分割しました。実際には特定のパターンがないことが分かります。

中国とカナダを見てください。両方とも100,000人の市民当たり約120人です。中国は左にあります:処刑数では、世界で最も多い国のうちの1つです。カナダは、右側で、処刑を廃止しました。

米国はグラフの右側のカナダ、オーストラリアあるいは西ヨーロッパの国家のような国々と近いことが分かります。これらの国はすべて100,000人の市民当たり囚人数は75~200人ですが、米国の4分の1未満の割合です。

最後に、グラフの向こう側を歩いてください。1970年、および再び2010年の人種別米国刑務所人口です。時間にわたって白人の収容者のパーセンテージと、ラテンアメリカならびにその他人種グループの差が縮んでいます。しかし、恐らく、最も顕著なことは、1970年以来の米国刑務所人口の増加によって、すべての人種グ

ループで、囚人が増えたことです。

ではなぜ米国は非常に多くの人々を拘束する必要があるのでしょうか。どのような結果があるのでしょうか。この歴史的な増加で、治安はよくなったのでしょうか。引き続きこの費用を支出できるのでしょうか。もちろん、これらの質問は複雑で、見解は異なります

ちょうどイースタン州立刑務所が世界のモデルだった時と同じです。

この野球場上の明るい赤いドアの後ろに、今日の刑務所と呼ばれる私たちの新しい展示があります。これは、革新的な映画とデジタル相互技術を使用して、これらの質問の多くをより深く掘り下げています。

**スティーブ・ブシェミ :**

これでツアーの最初の部分は終わりました。この忘れられない魅力的な建物の残りの部分を、ぜひご自身で確かめてみてください。ルートのお勧めの一つは、大きな刑務所の壁です。この壁に沿って進むと、まだ訪れていない監獄棟を通ることができます。

この歴史的建物の保全にご支援をいただける場合は、ぜひ会員プログラムへの参加をご検討ください。本日はお越しいただきまことにありがとうございました。

## 11.スポーツ

**ドナルド・ヴォーン、看守:**

私は、ドナルド・ヴォーンで、イースタン州立刑務所の看守です。もとはグレーターフォード州刑務所の最高責任者でした。

イースタン州立刑務所での独房をとりやめた後で、グループで行うスポーツが囚人生活の重要な部分になりました。政府は、さらに1928年に、ベーブ・ルースを招き、収容者と野球をすることを依頼しました。さらにスポーツは、刑務所スタッフに、すべての規則に従うためのインセンティブを囚人に与えました。罰としてこれらを奪うことができるようになったのです。

センターの見張り塔の方には、野球のバックネットが見えるでしょう。上の二つのポールはフットボール場のゴールポストです。後ろの大きな刑務所の壁にある、薄い白い線に気づくかもしれません。これはファウルボール・ラインです。また、壁の上には、フェンスがあります。これは、フライボールが刑務所を飛び出さないためでした。時々、ボールが投げ返され、1960年代に、ボールの内部に薬または武器が隠されていたことがありました。ジョー・ブライリーは、私が着任した時の監視員です。これからワードンがかつての日々を回想します。

#### **ジョー・ブライリー、監視員：**

それは終わらない問題でした。薬の錠剤を隠したボールが壁越しに投げられるようになりました。最初にマリファナが持ち込まれていることが発覚したとき、さまざまな手口が使われていました。

#### **ドナルド・ヴォーン、看守：**

今日、刑務所跡の近くを歩くときは、コーナーガイド・タワーの近くのハンドボールコート、アスファルトに塗装されたシャフルボードゲームコート、壁の下部の長く狭いローンボーリング場を捜してみてください。

## 12. 監獄棟 14

**シヨーン・ケリー、プログラム・ディレクター:**

私は、シヨーン・ケリーです。イースタン州立刑務所史跡のプログラム・ディレクターです。現在、監獄棟14の内部に立っています。回りをご覧ください。この監獄棟は、イースタン州立刑務所のオープンからおよそ100年後に構築されました。

この監獄棟が増築された時に、イースタン州立刑務所の収容者数は最も多くなっていました。およそ1,700人の収容者がおり、さらに有名なギャング、アル・カポネも収容されていました。また、もはや改革を導くモデル刑務所ではありませんでした。このコンクリートの棟はより多くの囚人を拘留するための最も安く効率的な方法でした。さまざまな理由で、初期の数年の楽観論は影を潜めました。監視員の名前はハーバートE.スミスでした。彼は「ハードボイルド」と呼ばれていました。彼は、部下の3分の1から、「狂気、不完全、退化した人間」とうわさされていました。収容者の更生の努力は彼の言葉でいえば、「冗談」にすぎないものでした。

この監獄棟の構造に関するガイドを聞くには、ボタン「13」を押してください。

## 13. 監獄棟 14 (延長)

**シヨーン・ケリー、プログラム・ディレクター:**

監獄棟14は、偽造罪判決で服役していたハーバード卒の建築家によって設計されました。また実際の土木作業を行ったのも、収容者でした。建物は3階建ての高さでした。同じ狭い通路、そして古い監獄棟のツアーと同じ天窓の釣り廊下があります。しかし、

この監獄棟が建設された時、独房システムは既に放棄されていました。したがってこの変更が建築にも反映されたことを見ることができます。

頭上にある棒は、ジャンパー棒と呼ばれていました。これらは、上の階から収容者どうしが互いに押さないようにするためのものでした。独房は二人収容ですがはるかに狭くなっていました。また、もちろん、独房の裏に囚人運動場はありませんでした。しかし、最も大きな変更は、これまでの懲戒センターからの監視システムが無視されたことでした。この監獄棟の設計は、既に中間にある建築設計に合わせて曲線を描かなければなりませんでした。したがって私たちが立っているこの廊下は、刑務所センターから目に見えないだけでなく、その他への廊下の別の端からも見えません。

#### 14. 有名な収容者:ペップザドッグ

**ディック・フルマー、更生カウンセラー:**

私の名前は、ディック・フルマーです。私は更生カウンセラーで、組織のソーシャル・ワーカーの仕事をしていました。私は、1966年から1970年まで刑務所にいました。

恐らく、イースタン州立刑務所で最も異常な囚人はペップ「ザキヤットマーダードッグ」と呼ばれていました。ペップは、1924年8月12日にイースタン州立刑務所に収容された、黒いラブラドルレトリバーでした。刑務所の記録では、ペンシルバニア知事ギフォード・ピンショーが、妻のかわいがっていた猫を殺したために、ラブラドルレトリバーを仮釈放のない終身刑にしたと伝えられています。刑務所の記録でも、刑務所収容記録でこの物語および収容者番号(C-2559)が残されています。

しかしながら、知事からは別の話が伝わっています。ペップの犯罪について主張されたことが事実かどうかは永久にわかりません。ペップの写真はうなだれて耳を後ろにやり、確かに有罪のように見えます。

**俳優:**

[barking] “ひどい犬だ!”[鳴き声]

## 15. 有名な収容者: 「スリックウィリー」 サットン

**ブレット・ベルトリノ、プログラム・コーディネーター:**

私はブレット・ベルトリノで、イースタン州立刑務所プログラム・コーディネーターです。

ウィリアム・フランシス・サットンの犯罪は、9歳のときに建造物侵入罪で始まりました。1930、40、50年代までに、「スリックウィリー」はアメリカで最も悪名高い犯罪者のうちの1人になりました。彼は派手な銀行強盗であり、縄抜け曲芸師で、銀行で強盗をする時は、しばしば郵便配達人、メッセンジャーあるいは警官に化けていたため、「俳優」と呼ばれました。

なぜ彼が銀行からお金を奪ったか尋ねられた時、「お金がある場所だから」と答えたことがしばしば報告されています。しかし、彼はこの言葉をどんなときでも否定していたことに注目する必要があります。

彼は、1934年にフィラデルフィアの穀物取引所銀行の機関銃強盗の罪で逮捕され、イースタン州立刑務所で25～50年の刑期が宣告されました。ここでは、サットンは少なくとも5度脱獄を試みていました。彼の最後の脱獄の試みは1945年4月3日でした。11人

のその他収容者と一緒に監獄棟7からトンネルを通った脱獄計画に加わったのです。彼は数分で、刑務所からわずか2ブロック先で捕らえられました。サットンはその迅速な逮捕に驚きませんでした。脱獄後の公式声明では、彼は、通りに出た時びしょぬれで泥だらけだったと刑務所の役人に伝えました。彼はふり返って見て、通りの泥だらけの自分の足跡を見て、トラブルを知っていました。

ウィリー・サットンのイースタン州立刑務所からの脱獄についてのガイドを訊くには、この場所でボタン「23」と緑の「再生」ボタンを押してください。

## 16.有名な収容者:クラレンス・クラインディンスト

**エリザベス・ウィリアムソン、ツアーガイド:**

私はエリザベス・ウィリアムソンです。イースタン州立刑務所のツアーガイドです。

1930年代の終わりでは、収容者は口を開かずに、この刑務所の石壁を黙々と修理して働いていました。彼の名前はクラレンス・クラインディンスト

でした。また、宣誓釈放された前の刑の残りを加え、クラインディンストは、建造物侵入罪、窃盗および偽造で5.5~11年の刑に服していました。誰もが彼をクライニーと呼んでいました。

彼のイニシャル、CKが、この庭の壁に刻まれています。このサインの右の壁にこれらを見ることができます。一階に2つの窓がある壁です。これらは、ちょうど屋根のすぐ下で高く上がっています。イニシャルの右には、さらに1938年の文字と、その右にスマイルのイラストを見ることができます。

1940年代中頃に、クライニーはよい労働者として評判を使用し彼自身を監獄棟7の独房68に移動しました。以前、そこで、彼は、石細工の組積工具と知識を使用しトンネルを掘り始めました。

### ショーン・ケリー、オペレーションディレクター:

監獄棟7では、1945年のトンネル脱走の跡を見ることができます。ガイドを訊くには、この場所でボタン「23」と緑の「再生」ボタンを押してください。

## 17.有名な収容者:エルモ・スミス

### ショーン・ケリー、プログラム・ディレクター:

私はショーン・ケリーです。私はイースタン州立刑務所のプログラム・ディレクターです。

イースタン州立刑務所は、ペンシルバニアで最も危険な犯罪者数名を収容していました。イースタン州立刑務所で歴史上最も悪名高い囚人のうちの1人はエルモ・スミスという名前でした。彼はメアリアン・テレサ・ミッチェルという名の若い学生をレイプし、殺害し、切断したことで有罪判決を下されました。彼は、監獄棟15ブロックに収容されました。スミスは死刑が宣告され、ペンシルバニアの処刑室で処刑が行われることになっていました。その有罪判決を言い渡す際に、ペンシルバニア最高裁判所は、スミスに「レイプおよび残忍な本能に対する渴望および粗暴な行動を持った致命的な殺人者」としました。

1962年4月2日、エルモ・スミスは、ペンシルバニアで電気処刑で処刑される、350番目の罪人となりました。この州で電気処刑が使用されたのはこれが最後でした。今日、ペンシルバニアの死

刑囚棟には200人を超える収容者がいます。また、州では、致死量の注射を使用して、収容者を処刑します。

## 18. シナゴーク

ローラ・マス：

イースタン州立刑務所のアルフレッド・W.のフライシャー記念シナゴークへようこそ。私はローラ・マスです。2004年には、私はこのシナゴークの歴史に関する修士論文を書きました。そのときこのスペースは壊滅的な状態でした。私は、その後考古学と保全チームと一緒に、シナゴークの外観復元に取り組みました。これから私がお案内するスペースでは、展示品や建物にはけして触れないでください:すべては驚くほど脆いからです。

では進みましょう。部屋の向こう側の指揮台からスタートしてください。このプラットフォームはビーマーと呼ばれます。上部の木の構造はトラーの箱舟と呼ばれます。これらはシナゴークの典型的な特徴です。箱舟は通常東の壁にあります。このように、エルサレムに面しているのです。これはトラーを入れるものです。トラーは、ユダヤ人の崇拝の中で使用される神聖な巻物です。この箱舟は1924年ごろ、この部屋が最初にシナゴークになった時に建造されました。私たちの保全チームは、60の部品にこれらを分解して、現地から作業場に移送しました。そしてオリジナルの柱や家具を注意深く修復しました。部品はすべて注意深く元通り組み立てられました。

箱舟の上には、永遠のライトがあります。これは、神の永遠の存在をあらわすため、けして消されません。これはモーセの十戒の板の前に掛かっています。板と現在の永遠のライトは複製です。私たちは、オリジナルを歴史的な写真から丹念に再現しました。

箱舟の一方の側面の照明設備は、刑務所が閉じられた時とそっくり同じ、正確な複製です。これらはヘブライ語で「平和」という意味の「シャローム」という単語が書かれています。この部屋は1924年頃建造され、ベンチが並べられています。私たちはいくつかの新しい脚を作って復元し、これらを回復し、いくつかのセクションはすべて交換しました。さらに、私たちは、室内や壁面の広範囲な歴史的な合板の保存を行いました。この作業では、合板の質が下がった層へ真空プレスを使用し接着剤を再導入しました。

このシナゴグの内部は恐らく有名な1920年代の建築事務所により設計されたものですが、ほとんどの木製部材は、イースタン州立刑務所の収容者によって実際に作られたと考えています。ベンチの脚は、例えば、さまざまな小さな差異があり、手で愛をこめて作られています。プロの木工場なら断面はもっと均一だったことでしょう。

部屋の真中にある高い机はリーダーテーブルと呼ばれます。これもシナゴグに特有です。トーラーの巻物は箱舟から取り出され、礼拝の間はリーダーテーブルに置かれます。

この部屋の床はビニールタイルです。最初は安い床材でしたが、タイルの多くは修理できないほど破損され、もはや残っていません。私たちはオリジナルと同じ外観のカスタム・スクリーン印刷タイルを利用しました。

シナゴグの裏には、小さな部屋があります。ぜひ自由に中をご覧ください。ただし、ドアを開けないでください。私たちは、故意にこの部屋を劣化したままで残しました。シナゴグになる前の、露出した石壁を見ることができます。後部右隅には初期の青

い石膏天井の痕跡があります。私たちは、この部屋が食事作りに使われたと考えています:流しと棚に注目してください。小さなオランダ扉はカウンターだったようです。これは、恐らく食事と儀式での手洗に使われていました。収容者は毎日清浄な食べ物を得られるとは限りませんでした。過ぎ越しの祝いのような特別の場合には法にかなった食事が外部ボランティアから提供されたことがわかっています。

シナゴークは1924年に設計された部屋のように見えないうちかかもしれません。イースタン州立刑務所年次報告を読むことにより、また構造物の入念な調査から、木材が設置された日付はわかっています。しかし、さらに写真からは、照明器具、華麗な石膏天井、タイル床、ペンキ色の分析を通して、これらがすべて1960年に加えられたことがわかっています。私たちはすべてを保全できるよう、1960年代の外観に部屋を復元しました。このシナゴークの最も大きな可動部分のうちの1つは、オリジナルのドアでした。このドアによって、この部屋がユダヤ人の崇拝の場所であると確認されました。ドアは脆弱で、そのまま使っていれば破損していたでしょう。このドアは、イースタン州立刑務所の隣にあり、ユダヤ人の生活史を展示する、ウィリアム・ポートナー展示で見ることができます。お越しいただきありがとうございます

## 19. 20世紀の宗教

**ドナルド・ヴォーン :**

私の名前はドナルド・ヴォーンです。グレーターフォードの州刑務所の最高責任者だった私は1966年にイースタン州立刑務所に着任しました。

初期の数年で、イースタン州立刑務所の隔離システムはそれ自体が一種の宗教的経験であると思われていました。その隔離方針が放棄された時、1907年のキリスト教収容者のための礼拝堂および1927年のシナゴークを含む集会場が作られました。アーチ形出入口には、壁に描き加えられた、壁画を見ることができます。この絵画はカトリックをテーマとし、刑務所の内部で改宗した収容者によって描かれました。彼は絵画に「ポール・マーティン」と署名しました。これは、彼が好きな2人の聖人の名前でした。

ここでは、すべての刑務所と同じように、生活での意味を求め、多くの収容者が、宗教に帰依しました。

#### **モーリス・タリー、収容者:**

囚人の中には、敬虔なキリスト教徒およびユダヤ教がいたと思います。また、恐らく、イスラム教徒もいました。グループ間には友情と尊敬の年賀がありました。[...]2、3人が、聖書を熟読しており、聖書を読むために独学していました。私はそれを見つけ出しました。1人の仲間は読み書きができませんでしたが、常に聖書を持っていました。そして彼はついに文盲であることを認め、私たちは彼に文字を読めるよう手を差し伸べました。彼が読みたかったのは聖書でした。

## **20. アル・カポネの独房（考古学）**

#### **ラティーフ・オークマン、ツアーガイド:**

私は、イースタン州立刑務所ツアーガイドの、ラティーフ・オークマンです。

**マット・マーフィ、ツアープログラム・スーパーバイザー:**

私はマット・マーフィーです。イースタン州立刑務所のツアープログラム・スーパーバイザーです。

**ラティーフ・オークマン、ツアーガイド:**

1929年に、アル・カポネはイースタン州立刑務所のこの小さなエリアで暮らしていました。当時、ここはパーク・アベニューと呼ばれていました。

**マット・マーフィ、ツアープログラム・スーパーバイザー:**

回りをご覧ください。これらの独房の中の人々が囚人と看守を分けるゲートの間違った側にいたことに注目してください。つたわるところでは、この空の独房がアル・カポネの独房だといわれていますが、確かなことはわかっていません。私たちは、注意深く石膏の上部の層を削除して、この独房を調査しています。

**ラティーフ・オークマン、ツアーガイド:**

リズ・トランブルは歴史保全マネージャーです。

**リズ・トランブル、歴史保全マネージャー:**

この頂上の石膏の層を削除すると、下には、表面装飾の多彩なペンキの20以上の層が露出しました。また、独房では、私たちの目をひいた3つのものを見ることができます。最初に、側壁の両側で、壁の中央の頂点に白い縞があります。その上で、白い縞は、青いペンキにかわります。これは、壁の中央の頂点で暗い色になり、壁を上へ移動するにつれて明るくなります。第3に、後部壁を見ると、天井の近くの天窓の左側に、茶色のペンキの垂直の縞が見えます。この茶色の縞は壁画の最後の痕跡です。恐らく写真にもわずかに残されています。

### ラティーフ・オークマン、ツアーガイド:

空の独房の左側には、アル・カポネのフィラデルフィア州での1929年の逮捕に関する資料を見ることができます。イースタン州立刑務所では、これらの資料とカポネの時間に関して、詳しいガイドを訊くには、ボタン「39」と緑の再生ボタンを押してください。

## 21. アル・カポネの借用

### エリザベス・ウィリアムソン、ツアーガイド:

こんにちは。エリザベス・ウィリアムソン、イースタン州立刑務所のツアーガイドです。

庭から通りにかけて、外のほうを見てください。この戸口はイースタン州立刑務所の半マイルの長い壁でただ一つの穴です。刑期を善行によって2か月短縮されたアル・カポネは1930年3月17日に釈放される予定でした。また、アル・カポネはそのドアを通るはずでした。しかし、入り口が一つしかないことはセキュリティ問題を引き起こしました。

新聞は、カポネの釈放の日に、500人が通りに並んでいたと報告しました。彼らは失望しました。監視員ハーバート・スミスは、グレートフォード州刑務所に秘密でカポネを移しました。また、彼は予定通り無事にそこから解放されました。1931年には、アル・カポネが脱税で有罪判決を受け、アトランタとアルカトラズの連邦刑務所で7.5年間服役していました。

## 22. 死刑囚棟(監獄棟15)

**ショーン・ケリー、プログラム・ディレクター:**

私はショーン・ケリーです。私はイースタン州立刑務所のプログラム・ディレクターです。

これは監獄棟15です。これは1959年4月27日に完成しました。これらはイースタン州立刑務所では本当に近代的な独房でした。また、ペンシルバニアの最も凶悪な犯罪者が収監されていました。これは刑務所内の刑務所でした。

窓に近い、部屋の左手側に進んでください。右側には、電気制御パネルがあります。看守は、独房をこれらのボタンを使って開閉しました。では、立ち上がってブロックを見てください。かつて玄関の中心に沿って走る、棒の列があり、2つの廊下を形成していました。天井、および床の残りのラインに注目してください。窓に近い廊下は看守が使用し、安全廊下と呼ばれていました。また、独房の近くの廊下は収容者によって使用されました。安全廊下は、看守と収容者の間の接触を最小化していました。しかし、監視員ジョー・ブリーリーは、安全廊下がスタッフを弱く見せると考えていました。

**ジョー・ブライリー、監視員:**

私は安全廊下は歩きませんでした。私は、常に収容者側の廊下を歩きました。私の意地です。私が頑固だったためです。

**ショーン・ケリー、プログラム・ディレクター:**

ほとんどの収容者は厳しい刑に服していました。それは困難な時代でした。

**ジョン・マクロー、収容者:**

独房の小窓からは、少し光が入ってきていました。光はたいい  
かすかでした。特権などは与えられませんでした。雑誌、本、面  
会はなく、1日1食しか与えられませんでした。

**ショーン・ケリー、プログラム・ディレクター:**

メルブ・リチャーズは、刑務所の歯科医で監獄棟15へ呼びだされ  
たことを思い出します。

**メルブ・リチャーズ、歯科医:**

ハリスバーグからの若者が刑務所にいました。また、ハリスバー  
グで銀行強盗で、ガードを吹き飛ばして死ぬ予定でした。彼は20  
代でした。若者は非常に危険であると考えられたので、歯科医院  
まで彼を連れて来ることも、私が彼の独房に入ることも認められ  
ませんでした。しかしこの若者は治療が必要でした。看守はライ  
フル銃を持ち出して、外部の壁上に立ち、触れないようにしてい  
ました。彼は、バーに近づいて頭を上げ口を開くように伝えまし  
た。間違った方法で呼吸するたびに、彼は「壁の上に頭を吹きと  
ばすぞ」と行っていました。

**ショーン・ケリー、プログラム・ディレクター:**

死刑を待つ収容者が監獄棟15、あるいは監獄棟1に主要されたた  
め、監獄棟15は、死刑囚棟と呼ばれます。しかしながら、イース  
タン州立刑務所には死刑はありませんでした。死刑の日付が近く  
なった収容者はロックビュー州刑務所に移されました。そこで死  
刑が行なわれました。

外に出て、外部からの監獄棟を見てみてください。これはアメリ  
カの刑務所の死刑の現実を思い起こさせるものです。イースタン  
州立刑務所の多くは19世紀のロマンチックな廃墟に見えるかもし  
れませんが、死刑囚棟は近代的で、奇妙に見えます。

## 23.脱獄!1945年のトンネル脱獄

ブレット・ベルトリノ、アシスタントプログラム・ディレクター  
:  
私はブレット・ベルトリノ、イースタン州立刑務所のアシスタン  
トプログラム・ディレクターです。

1945年のイースタン州立刑務所では、最も有名な脱獄がこの監獄棟から行なわれました。収容者クラレンス・クラインディンストは左側の最後の独房No.68に住んでいました。中に入ってください。

クライニーの愛称を持つ彼はよい労働者で、政府によって信頼されていました。彼は、刑務所のまわりの石膏および石壁を固定する仕事をしていました。クラインディンストは、彼自身の独房を塗りなおすことができるかどうか監視員に尋ねました。監視員は同意しました。独房で作業をしている間、クラインディンストは秘密で木製パネルの後ろの穴をあけ、壁にトンネルを掘り始めました。

考古学者は、トンネルの入り口を2005年に発掘しました……その入り口は非常に狭いものでした!

掘削開始から約1年後に、トンネルはほとんど完成していました。それは、地下15フィート、Fairmount通りまで97フィート、上に15フィート拡大していました。ライトもあり、木製のブレースで強化されていました。玄関に出て、左にまがり、外に出てみてください。

考古学者は、地下レーダーを使用し脱獄トンネルのパスを識別しました。今日発掘されたラインは、トンネルのパスをトレースし

ます。想像してください、1945年4月3日に、クライニーと同室者ウィリアム・ラッセルはイースタン州立刑務所の前の土地を通り抜けました。10人の収容者が脱獄に参加しました。1人は派手な銀行強盗および縄抜け曲芸師ウィリー・サットンでした。サットンはわずか数ブロック先で、数分で捕まりました。また、サットンはその後トンネルの設計および構築を自分がしたと主張しました。

クラインディンストは約2時間後に捕らえられました。また、3～6年の刑期が延長されました。

ジェームズ・グレースが4月11日の朝に刑務所に戻った時、看守は驚きました。彼はドアベルを鳴らし、入れてくれるように頼みました。彼は空腹でした。最終的に収容者はすべて逮捕されました。スタッフは刑務所の焼却炉の灰でトンネルを埋めました。

この有名なトンネルの調査について説明する短いビデオを、右側のオープン独房の内側で見ることができます。

**ショーン・ケリー、プログラム・ディレクター:**

ボタン「15」と緑の「再生」ボタンを押すと「スリックウィリー」サットンに関する詳しいガイドをお聞きいただけます。また「16」と緑の「再生」ボタンを押すと、クラレンス・クラインディンストに関する詳しいガイドをお聞きいただけます。

## **24.脱獄!1923年のレオ・キャラハン脱獄**

**エリザベス・ウィリアムソン、ツアーガイド:**

私はエリザベス・ウィリアムソンです。イースタン州立刑務所のツアーガイドです。

その壁を見てください。あなたが収容者であると想像してみてください。どのように壁の上に得るでしょうか。上りにくくするために、角が曲線になっていることに注目してください。1923年7月に、6人の収容者が壁を乗り越えました。

壁を乗り越えた囚人のうちの1人、ジョージ・ブラウンは熟練の家具工でした。彼は刑務所の木工店で梯子を建造し、通常の収容者の下足ロッカーの内部にかくしていました。

収容者のうちの5人は結局捕らえられました。一人はハワイのホノルルにいました。しかし強盗、窃盗および暴行、共謀殺人未遂で18年の刑に服していた22歳の囚人レオ・キャラハンはつかまいませんでした。それはあまりない例です。イースタン州立刑務所の142年間で脱獄した100人の収容者の中で、つかまらなかったのはレオ・キャラハンだけでした。ではキャラハンの写真を見てください。この人を見かけませんでしたか。

## 25. ザ・ホール (“クロンダイク”)

**ディック・フルマー、更生カウンセラー：**

私の名前は、ディック・フルマーです。私は1966年から1970年までイースタン州立刑務所で、ソーシャル・ワーカーとして知られていた更生カウンセラーでした。

戸口の右の階段をご覧ください。これらは懲罰独房でした。階段を下ると、低い天井で、配管のない4つの小さな独房がありました。イースタン州立刑務所では、隔離は常に使用されていましたが、時間とともに大きく変わりました。20世紀に、イースタン州立刑務所での隔離は罰として使用されました。それ以前には、隔離は基礎的な更生方針でした。すべての刑務所では、懲罰独房は

収容者の俗語で「穴」と呼ばれます。イースタン州立刑務所では、この場所はクロンダイクとも呼ばれました。

### **匿名収容者3:**

下には2、3の劣悪な独房がありました。マットレスはありませんでした。毛布もありません。鉄のベッドだけでした。非常に狭い独房です。収容期間は10～30日程度で、パンと水だけのこともあれば、食事全体の量が減らされることもありました。1日1食などです。

### **ディック・フルマー、更生カウンセラー:**

隔離が長くなると精神的外傷になるおそれがあります。

### **ジェシー・ディググリエルモ、収容者:**

私には友達がいました。この子供、ジミー・デブリンでした。この子供は30日間穴にいました。出てきたとき彼はほとんど盲目になっていました。

### **ディック・フルマー、更生カウンセラー:**

ソーシャル・ワーカーとしての私の最初の業務はもっともセキュリティが厳しい棟でした。懲罰房があり、割り当てた人々からは、「あまりしめあげることはないだろう。学習するのによい場所だ」と言われました。これが、「穴」での私の直接の経験です。

### **ショーン・ケリー、インタープリテーションディレクター:**

今日の懲罰独房の使われ方についてのガイドを訊くには「35」と「再生」ボタンを押してください。

## 26. ゴースト:「イースタン州立刑務所にゴースト出没？」

**スティーブ・ブシェミ :**

こんにちは。私は俳優のスティーブ・ブシェミです。

この場所にはゴーストが出没するのでしょうか。それは誰にもわかりません。一部のビジターは、イースタン州立刑務所で「何かを感じた」と言いました。

**チャールズ・アダムズ、作家:**

私の名前はチャールズ・アダムズです。私は「フィラデルフィアの怪談」という本を書きました。

**スティーブ・ブシェミ :**

アダムズ氏は、アダムズファミリーの有名な漫画とは関係ありません。しかし、は、無気味なものに対する愛情を共有しています。

**チャールズ・アダムズ、作家:**

私は、独房から独房へとうつる怪しい影の典型的な怪談や恐怖体験を聞きました。もっともおそろしいものは錠前屋の話でした。彼はうち捨てられた独房のドアから142年前の錠前を外していました。そこで彼は、信じられない強力なエネルギーと評したものに遭遇しました。

彼は身にふりかかったことにぎょっとしました。彼は理解できませんでした。したがって、私は、彼が私に伝えたことが100パーセント真実だったと信じています。

**スティーブ・ブシェミ :**

私たちが知っていることは、140年以上の間これらの壁のむこうでは巨大な苦痛が生じていたということです。多くの男性や女性

がここで死にました。また、ゴーストが出没していなくても、建物自体が呪われています。」

**チャールズ・アダムズ、作家:**

私の見解によれば、ゴーストは数体ではなく、数多くの魂のシチュエーションでイースタン州立刑務所で永遠に渦巻く幽霊です。

**スティーブ・ブシェミ :**

恐らく、あなたはゴーストを信じないかもしれませんが。しかし回りをご覧ください。もしゴーストがどこかに存在すれば、それらはここにいるのです。

## 27. 27.イースタン州立刑務所での撮影

**スティーブ・ブシェミ :**

こんにちは。私は俳優のスティーブ・ブシェミです。

1971年の閉鎖以来、イースタン州立刑務所は、写真、ミュージック・ビデオ、アルバムカバー、また特作映画の人気のロケ地となってきました。刑務所が登場する作品に驚くかもしれません。ブラッド・ピットとブルース・ウィリスが主演する1997年の映画「12モンキーズ」

」の多くは、今ちょうど立っているスペースで撮影されました。

1999年の映画「パラダイスへのリターン」では、イースタン州立刑務所はマレーシアの海岸として撮影されました。この映画はほとんどが監獄棟12で冬の最中に撮影されました。熱帯地方の幻覚を生み出す目的で、俳優を汗ばんで見せるために水が吹きかけられました。また、口にアイスクューブを入れ息が白くならないようにしていました。

1985年には、ティナ・ターナーが、*Mad Max Beyond Thunderdome*のミュージック・ビデオを撮影しました。また、スティングのアルバム*All This Time*のカバーは2001年にここで撮影されました。

私が最初にイースタン州立刑務所に関して聞いたのはロケハンのときでした。私は、実際にこのような建物が存在したことに驚嘆しました。センターの見張り塔の上から、この場所の構造が実際にユニークでスリリングなことがわかりました。不運にも、史跡だったためここで撮影はできませんでした。私たちは、刑務所内を変更することが認められていませんでした。しかし、私は、まだ最初にイースタン州立刑務所に入った時信じられないほどに触発されたことを覚えています。

## 28. 「なぜこの場所を修復しないのか？」

**サリー・エルク、理事:**

こんにちは、私の名前はサリー・エルクです。私は理事です。

私たちのツアープログラムが1994年に始まった時、建物はきわめて劣化した状態でした。刑務所を廃墟同然と呼んだほどでした。思い出してください。刑務所は1971年に閉鎖され、20年以上メンテナンスが全く行われていませんでした。私たちが刑務所の全体を修復する計画があるかどうかよく質問を受けます。修復はしません。1つには、費用面の問題です。より重要なことは、私たちも見学者も、現在の状態を好むからです。

私たちの目標は安定した廃墟です:劣化を止めてツアールートを安全にすることです。さらに、私たちは、建物がどのように設計されたか、また、それがどのように時間とともに変わったか、理

解しやすいよう、いくつかの場所を修復することを計画しています。見上げれば、新しい石膏天井と新しい天窓が見えるでしょう。私たちは、このリンクを回復することに決めました。3つのバレルアーチ型天井が中央に集まる最も視覚的に興味深い場所のうちの1つだからです。これは早くも1925年に撮影されていました。私たちは石膏なしの様子を想像することができませんでした。

さて、監獄棟2のリンクに向かって歩いてください。被害を受けた木製の葺設構造をそのままに露出させていることに注目してください。天井と壁を塗りなおすのではなく、私たちは建物が時間にわたってどのように建設されたか示せるよう、オリジナルの建築材料を露出させるような保全作業を行いました。一つの興味深い例として、監獄棟2の初めの鉄ゲートの近くの小窓を見てください。窓のまわりの石膏の損失でオリジナルの1829年の構築が明らかになりました。

## 29. 床屋

### アーウィン・シュマックラー、教師:

私の名前はアーウィン・シュマックラーです。また、1966年の夏に、私はイースタン州立刑務所の理髪店で仕事を見つけました。

初期の収容者は、それらが好きな髪型とひげが認められていました。この収容者の自由は大きいため、他刑務所システムによって非難されていました。しかし、20世紀に、収容者は、散髪をすることが義務づけられていました。

**リチャード・グリフィン、看守：**

収監から4時間以内に、囚人が床屋に送られます。コインを弾き、コインが地面にぶつかるまでの間に、頭髪はすべて剃られていました。

**アーウィン・シュマックラー、教師：**

イースタン州立刑務所のほとんどすべての監獄棟の中で、独房の一つが収容者理髪店に改装されました。独房には蛍光灯、出口、鏡およびバーバーチェアがありました。収容者は、理髪師の訓練を受け、西洋かみそりで「顧客」の理髪を行いました。これらのカミソリは、看守によって当番で管理されていました。実際、それは私の仕事でした。

前の窓を通して、直接職員用の床屋が見えます。家族と友達を連れて、安い散髪に来た看守もいます。

看守および収容者理髪師は、私たちが考えるよりもうまくなじんで暮らしていました。

**リチャード・グリフィン、看守：**

私が着いた時の理髪師は「力」を持っていました。また、彼は職員のすべての理髪を担当していました。私はここで3日か4日前にきたばかりで、散髪とひげそりをどうしても必要としていました。そこで私は入り、椅子に座りました。彼が中へ入りました。彼は奇妙な様子で笑っていました[笑]。彼は私を椅子にかけさせ、最初にひげを剃るそぶりをみせました。しかし、彼は、西洋かみそりの鋭くない端をもち、私の喉を切ろうとしました。私は、「ゲームをし終えたならば、速くしてくれよ」と言いました。彼は私の散髪とひげそりをして、代金は40セントでした。また、それ

が私の「力」の経験でした。彼は腕のよい理髪師でした。

### 30. 温室

**ドナルド・ヴォーン、看守：**

私の名前はドナルド・ヴォーンです。私はグレートフォード州刑務所の最高責任者でした。

刑務所壁の内には常に温室があったように思われます。これは1936年頃に構築されました。温室は、囚人の食物を生産するためではありませんでした。それは収容者に職業技能を身につけさせるために使用されました。何人かの収容者がそこで働くことが好きだったため、私たちは、善行に報いるためのほうびとして使用しました。

時々、温室の花が一般市民や職員に売られました。私は母親にそれらを注文していました。

### 31. セクシャリティ (20世紀)

**ディック・フルマー、更生カウンセラー：**

私の名前は、ディック・フルマーです。私は1966年から1970年まで、イースタン州立刑務所の更生カウンセラーで、ソーシャルワーカーとしても知られていました。

イースタン州立刑務所で独房収容が徐々に崩れ、収容者の相部屋化が進むと、収容者の間の同性愛は大きな問題になり始めました。

**匿名収容者1:**

同性愛が多くなかったわけではありません。しかし、一方でそれは暗黙の強制あるいは金と引き換えのものでした。人々はたばこを体で支払いました。オープンではありません。同性愛で「恋に落ちる」ことはありました。

#### **ディック・フルマー:**

レイプも増加し、問題になりました。また、若者は特に脆弱でした。

#### **フィン・ホラナム、コンサルタント :**

彼は、監獄棟の終わりでシャワーを浴び、蒸気で何も見ることができませんでした。看守は何が起きたかわかりませんでした。彼らは、そこで起こることを知っていました。囚人たちは生きようとしたのです。

#### **ディック・フルマー、更生カウンセラー :**

働いているあいだ、私はいくつかの方法でこの問題に直面していました。最も一般的な問題は、彼らがどのようにしてこれを扱うかについて、進んで話さなかったことでした。話させるのは、私の仕事でした。この刑務所で10年を過ごします。どのようにして性別衝動を扱いますか。どのようにして脅したり誘惑しようとする人々に対処しますか。この制度を維持するならこの問題を考える必要があります。これはあなたの環境の一部です。無視することはできません。

#### **シヨン・ケリー、インタープリテーションディレクター :**

「32」および緑の「再生」ボタンを押すと19世紀のイースタン州立刑務所でのセクシュアリティの問題に関するガイドを訊くことができます。

## 32. セクシャリティ (19世紀)

**ノーマン・ジョンストン、社会学者：**

私の名前はノーマン・ジョンストンです。私はアルカディア大学の名誉教授です。私は刑務所に興味を持って、1950年代の初め以来調査を報告してきました。

刑務所のセックスは常に存在しました。イースタン州立刑務所では、収容者の大部分は、独房に閉じ込められていたため、ただ一つの方法は手淫でした。手淫は、19世紀で刑務所職員やとんどの刑務所内科医の間の重大な懸念事項でした。これらは通常「唯一の悪徳」あるいは「自己の乱用」と呼ばれました。手淫によって、無気力、結核、えそ、精神異常および時々死などが引き起こされると考えられていました。

例えば、1838年の年次報告では、精神異常の例が18例リストされました。これらのうち、3分の2が過度の手淫によるとみなされました。長い時間手淫についての誤解は解かれませんでした。

過去と同じように、すべての今日の刑務所の中では、異性との内部接触の問題があります。収容者、スタッフにかかわらず、女性は存在していました。1922年には、収容者エセル・ジョンソンが、職員によってレイプされたと宣誓しました。彼女の赤ん坊は刑務所の内部で死産されました。翌年、もっぱら女性服役者のための刑務所が州の西部のミュンシーで開かれました。また、イースタン州立刑務所の女性服役者はすべてそこに移動され、この刑務所には二度と戻されませんでした。

**シヨン・ケリー、インタープリテーションディレクター：**

「31」と緑の「再生」ボタンを押すことで20世紀のセクシュアリティの問題について聴くことができます。

### 33. 厨房

**ドナルド・ヴォーン、看守：**

私はドナルド・ヴォーンです。グレーターフォード州立更生期間の看守で、この期間はイースタン州立刑務所のあとにかわってできた施設です。

あなたのすぐ前にある独立している建物は、キッチンでした。これは1903年に構築されました。玄関の積みおろし場所のように見えるものと正面の大きな穴は、古いトラックスケールです。食品についてはわかっていないこともあります。一部の収容者は、食事の質はかなりよいと考えていました。

**コーチース、収容者：**

おいしい食物を食べていました。おいしい食事です。悪いものは何でませんでした。私が食事を準備しました。また、キッチンで働いた多くの囚人が、準備を手伝いました。私たちはまる鶏の半分などが与えられました。レッグなどはありませんでした。ステーキや、ハンバーガーができました。

**ドナルド・ヴォーン、看守：**

また、何人かの収容者は非常に異なる意見を持っていました。

**ジェシー・ディググリエルモ、収容者：**

シェフはいませんでした。街の男がいました。彼に料理を教え、彼が豆のスープを作りました。彼は豆スープを作りました。ただそれを食べました。

**ドナルド・ヴォーン、看守：**

私は食事の質はかなりよいと考えていました。

シヨーン・ケリー、インタープリテーションディレクター：  
今日、アメリカの刑務所で出される食事、およびナトラローフと呼ばれる論争的の懲罰食品に関してさらにガイドを聴く場合は、「34」と「再生」ボタンを押してください。

### 34. 今日の刑務所の食事

シヨーン・ケリー、インタープリテーションディレクター：  
こんにちは、シヨーン・ケリーです。私は、イースタン州立刑務所のインタープリテーションディレクターです。

1960年代にリチャード「コーチース」という熱心な調理によって作られたまる鶏の半分を何日も掛けて食べる、刑務所の食事ははるか昔の話です。

アメリカの刑務所のコストは最近の数十年間で急上昇しました。2010年には800億ドルで、グルメな食事は用意できません。今日、米国で収容者を扶養するコストは、1日当たり平均約4ドル、あるいは1度の食事当たり1.25ドルです。結果として、食事は高度に処理された、あるいは冷凍の大量生産か、缶詰になりました。今日の刑務所には新鮮な果物または野菜はほとんどありません。調理部員は、通常収容者で、食品を熱し、プラスチックトレイにのせてだします。

私はこの数年にわたって刑務所を訪れる、これらの多くの食事をたべてきました。私はの経験からは、今日の収容者が基礎的な栄養上のニーズを満たす食事を得ていますが、食物の外観と味はひどいと言うことができます。

また、一部の刑務所の食事は故意にまずくされています。「ニュートラローフ」は、刑務所規則を破った収容者に供給される、古い「パンおよび水」の現代のバージョンです。ニュートラローフは刑務所によって変わりますが、すべて、まずい食事が目的です。イリノイのレシピは、例えば、牛挽肉、アップルソース、トマトペーストおよびガーリック・パウダーのコンビネーションです。これらはスライスして塊で焼かれ、懲罰期間毎食だされました。好奇心が強ければ、多くの州のニュートラローフレシピをオンラインで閲覧できます。

裁判所は、刑務所がニュートラローフで収容者を罰する権利を一般に支持しました。しかしこのプロセスは論争の的になっています。

### 35. 今日の独房

ショーン・ケリー、インタープリテーションディレクター：  
こんにちは、ショーン・ケリーです。私は、イースタン州立刑務所のインタープリテーションディレクターです。

1800年代の刑務所管理者は、独房監禁がここでも別の刑務所でも非常に有効な罰であることを知りました。しかし、重大な問題もありました。長期の独房拘束が危険であると結論する研究が増えってきました。拘束はしばしば情緒的・心理的ブレイクダウンに結びつきます。その結果、20世紀のほとんどの刑務所システムは、独房拘束を厳しく制限しています。

イースタン州立刑務所が1970年に閉鎖されて以来、数十年間で、アメリカの刑務所の独房拘束は大きく増大しました。今日、その他国家はアメリカほど独房拘束を行っていません。今日、約80,0

00人のアメリカの収容者が独房で暮らしています。1日に22～24時間独房に収容されるのです。

多くがわずか数日の間の「穴」と呼ばれる場所に送られます。しかし、連邦刑務所、あるいはカリフォルニアまたはルイジアナのような州では、収容者は、長年にわたり事実上人間との接触がありません。これらの収容者は、しばしばすべての刑期を独房で終え、いきなり独房から市街に放たれます。

支持者は、刑務所規則を破った人々を罰するために、および刑務所人口内の乱暴な収容者を孤立させるために長期の独房拘束が必要であるとします。彼らはスタッフと収容者にとって安全な刑務所を維持することに役立つと言います。

反対者は、分離で精神障害をきたし、すくなくとも必要な対策をとるべきとします。長期の独房拘束が残酷で異常な罰であり、憲法第8修正に違反していると主張するのです。

### 36. 米国の刑務所の人種問題

**キース・リーヴス、政治学者:**

アメリカの刑務所システムの影響の大きいいくつかのグループが存在します。

**アニー・アンダーソン、研究者:**

220万人のアメリカ人が刑務所または拘置所にいます。しかし、その人口はほぼ60%が黒人あるいはラテンアメリカ人です。アメリカの人口の黒人とラテンアメリカ人の割合はわずか30%です。

**キース・リーヴス、政治学者:**

私はキース・リーヴスで、スワスモア・カレッジの政治学者です。

**アニー・アンダーソン、研究者:**

私はアニー・アンダーソン、イースタン州立刑務所研究者です。

**キース・リーヴス、政治学者:**

囚人の人種の偏りは、アメリカの歴史の最も初期の数年にさかのぼります。

**アニー・アンダーソン、研究者:**

例えば142年間、囚人がここで拘留されていましたが、黒人の収容者は、外部数に比べて常に大幅に割合が高かったのです。イースタン州立刑務所最初の収容者チャールズ・ウィリアムズは黒人でした。彼は時計と金の鍵を盗み有罪判決を下され、1829年の10月にこの建物へ収容されました。

**キース・リーヴス、政治学者:**

初期の数年で、これらの囚人の多くは奴隷にされ、黒人女性は特に多くを占めました。

エドワード・アビーは1830年代に刑務所を訪れた英国人で、仕事の不足と法制度の偏見が多くのアメリカ黒人を刑務所へ追い込んでいると書き残しました。

イースタン州立刑務所が閉鎖されて以来、人種と投獄の危機はさらに悪化しました。1970年以來の米国刑務所人口の大幅な増加で、すべての人種グループで囚人が増えましたが、黒人・ラテンアメリカのコミュニティは最も大きく増加しました。

**アニー・アンダーソン、研究者:**

実際、一般的な米国のうち黒人は13%ですが、今日、その他任意の人種やエスニック・グループよりも黒人の囚人ははるかに多くなっています。

この右のグラフをご覧ください。アメリカで100,000人の白人の男性のうち、投獄されるのは、678人です。しかし100,000人の黒人の男性のうち、投獄されるのは、4,000人を超えます。これは6倍高い割合です。なぜこれがまだ起きているのでしょうか？

**キース・リーヴス、政治学者:**

私はほぼ11年このトピックを研究し、投獄された人を調査し、人種と、貧しい地区の貧しい人々の逮捕が原因だと考えるようになりました。

あなたの意見や、生育場所が、刑事司法制度の体験に影響したと思いますか？

**アニー・アンダーソン、研究者:**

また別の質問もあります。イースタン州立刑務所から200年たっても、人種、貧困および投獄の関係が強いままであるのはなぜでしょうか。

**キース・リーヴス、政治学者:**

イースタン州立刑務所の人種の歴史は、「黒人」および「白人」の点から大部分が記録されました。しかし、今日の米国の刑務所は、国家の多様性を反映します。米国刑務所システムの人種構成が時間とともにどのように変わったかについては、野球場上の大きなグラフをご覧ください。

## 37. EASTERN STATE IN RUIN

**サリー・エルク、理事:**

私の名前はサリー・エルクで、1985年以来イースタン州立刑務所で働き、現在は理事です。

私がタワーのトップに最初に上がり、サイトを見渡した時、実際の刑務所は植物でおおわれ、見えませんでした。まるで都市の林のようで、自然によって浸食されていました。クワの灌木が至る所にあり、鳥が飛び、捨てられた猫が多く、何もしなければ屋根が落ちるのは目に見えていました。天窗も至る所に壊れていることが分かりました。また、水が入り込み、塗装がはげ、石膏が落ち、構造を安定させる作業が必要だったことは明らかでした。

私は最初に、都市でメンテナンスを担当した人に会いました。彼の名前はジョン・ルボでした。私たちはジョンのステーションワゴンで刑務所にやって来ました。準備ができると、彼は銃をだし、私たちが刑務所に入るときに援護射撃をする必要があると言いました。市場で売ることができる銅の配管などを盗む侵入者がいたからです。今日まで、私は、彼が冗談で脅えさせようとしていたのか、あるいは、彼が実際に、銅管を盗む誰かから私を保護しようとしていたのかは分かりません。

修復で、最初にする必要があることは明らかでした。植物が、周囲壁の近くや建物の基礎でおいしげり、刑務所を長期的に脅かしていました。広さはほとんど11エーカーあり、大変な仕事でした。木はちょうど天蓋に似て、私は木のトンネルを歩いていました。木に花が咲いた時さえ、それは喪失感に満ちた非常にロマンチックなサイトでした。サイトを保護するために修復が進んだ今日では、喪失感は少なくなっています。

## 38. 病院

**エヴァ・ガトウェイン、ツアーガイド:**

こんにちは。私はエヴァ・ガトウェインです。イースタン州立刑務所のツアーガイドです。

現在、イースタン州立刑務所の病院ブロックがある、監獄棟3の廊下を見下ろしています。ゲートの赤十字に注目してください。病院には手術室、病室、X線の機械および十分な薬がありました。収容者とスタッフのメンバーの多くがイースタン州立刑務所に戻り、1950年代および'60年代のこの騒々しい病院の記憶を共有しました。物語を聞きながら、後ろの病院に関する、写真と収容者を書面の記事を自由にご覧ください。

**アンソニー・アンドリュース、心理学者:**

ファイル中の刑務所センターを進み、収容者がたちまちナイフで刺され、それらは病院にそれらを急送されたことがわかります。流血はほとんどがけんかからでした。ほとんどがけんかからでした。

**ディック・フルマー、更生カウンセラー:**

心臓手術から入れ墨と傷跡を削除する形成外科まで、医学的処置はなんでも刑務所病院で行われました。

**チャールズ・ギンドル、収容者:**

私は医者事務員として始め、次に、検査室、その次に、手術室に入りました。また、その後、私は3つすべてを務めていました。他の収容者は私に仕事を教え、その他収容者で教えあっていました。そして医者が監督していました。

**ジョウン・ディベネデット、事務員:**

私は、オフィスで転倒し、足首が腫れたことを思い出します。私はつれていかれレントゲン写真を撮り、ゲートまで車椅子で私を

連れて来ました。次に、囚人はみな中門の中で私たちに会い、病院に私を呼び入れようとし、この病院に私を呼び入れようと争っていました!奇妙な話でした [笑い]!

#### フィン・ホーナム、コンサルタント :

この病院は、州の至る所で、および恐らく州外でも有名でした。施設が持っている大きな利点は、病院でいっぱいフィラデルフィアの中心にあることでした。しかし、専門家を呼ばなければなりませんでした。州からの予算はほとんどありませんでした。しかし、多くの種類の奇妙な病気の患者がいたため、彼らは進んで通常中へ入り、ここで働きました。

#### クリフォード・レドゥン、収容者:

私は、けんかが起きたことを思い出します。彼も私もナイフを持っていました。彼は、私の左目部分を切りつけ、私は肋骨を切りつけました。彼は病院へ連れて行かれ輸血されました。

ペーペという一人の詐欺師は、「縫い合わせるか」と言いました。

私は彼に「どのくらいかかるか」尋ねました。私はこの目をなおしたかったです。したがって、私は「はい」と言いました。

そこで彼は傷を縫い合わせました。しかし、彼は長い糸を使っていたため彼が強く抜いて引くのを感じられました!

彼が現われた時、医者は「非常によい縫合だ」と言いました。彼は、「最初に洗い流しましたか。」と言いました。

また、私は、「おお、神よ、洗いませんでした。彼に伝えればこれらの糸をすべて取り出そうとしましょう」と思っていました

。そこで私は「はい」と答えました。したがって、彼は「よろしい」と言いました。

#### **匿名収容者4:**

医者と呼ぶと、「アスピリンをだすから帰ってくるな」といいます。これはがよかったですよ!鼻を折って手術を必要とした場合、すぐに手術を受けられました。しかし、風邪やインフルエンザでは手当は熱心ではありませんでした。アスピリンが処方されました。「チキンスープを与えてください。」

#### **ディック・フルマー、更生カウンセラー:**

医学のセクションのもう一つの主な問題は精神医学でした。精神病医がいたので、州全体から患者が来ていました。非常に多くの精神病者がいたので、精神病医は中へ入ろうともしませんでした、精神医療を求めて多くの精神障害者であふれていました。

#### **ジョーゼフ・マーヘル、心理学者:**

結局、集団療法が多く採用されました。刑務所が閉鎖された時には、治療グループが25以上あり、看守が共同セラピストに志願しました。したがってキャプテンと副キャプテンのように、キャプテンや代理、共同セラピストとして訓練を受けた人が多くいました。

#### **チャールズ・ギンドル、収容者:**

キャプテンは、2人の仲間と私に、アル患者に拘束衣を着せるように命じました。私たちはつばを吐かれ、かまれ、蹴られ、さまざまに抵抗されようやく拘束服を着せました。その後、キャプテンは私たちが彼に拘束服を押しつけたと精神病医に電話しに行きました。精神病医は、「脱がせてください」と言いました。したがって、私たちは拘束服を脱がせました。精神病医が患者を見に

来るとまた「拘束服を着せてください。」と言いました。したがって、私たちは拘束服を着せました。

**レイモンド・グラディ、看守:**

かなり多数が自殺をしようとしていました。ドーシーという男はベッドに頭を打ちつけました。そこにベッドがありますね?ええ。私は、彼が行ったように頭を打って、彼は正気でないと思いました。私たちは入って、彼を止めなければなりませんでした。

**匿名収容者4:**

監獄棟には「老人ブロック」がありました。年老いた囚人が一つのブロックに集められていました。彼らは松葉杖や杖が必要でした。また、病院ブロックもありました。ブロックに死ぬまで入れられていました。多くは外に出てきませんでした。外に出ることができる方法はありませんでした。まるで二重生活でした。彼らはずっとそこにいました。

**レイモンド・グラディ、看守:**

この場所は特に医療ブロック中の精神医学ブロックでは狂気に満ちている音がありました。

**エヴァ・ガトウェイン:**

病院は広範囲な修復を必要とし、私たちは、ビジターの安全を守るための修復を今後数年間にわたって計画しています。修復が完了したときにはぜひまたお越しいただき、自分の目で確かめてください。

**39.アル・カポネの独房（復元）**

**マット・マーフィ、ツアープログラム・スーパーバイザー:**  
アル・カポネは、1929年にフィラデルフィアで何をしていましたか。

**ラティーフ・オークマン、ツアーガイド:**  
彼と用心棒のフランク・クラインは故郷アトランティックシティから、シカゴへ車を運転していました。彼らは夜の間フィラデルフィアに泊まりました。警察はカポネを見つけ、2人を搜索しました。

**マット・マーフィ、ツアープログラム・スーパーバイザー:**  
二人とも無免許で装填した38口径リボルバーを持っていることがわかりました。逮捕から12時間以内に、二人は最大刑を言い渡されました。1年は刑務所に武器を隠して持ち込んだことでした。カポネの収容カードでその判決を見ることができます。“C.C.D. W.”に単語が短縮されています。

**ラティーフ・オークマン、ツアーガイド:**  
しかしながら、皮肉なことに、裁判所がこの有名なギャングに厳しい刑を与えた一方、イースタン州立刑務所の役人は驚くほど寛大だったように見えます。

**マット・マーフィ、ツアープログラム・スーパーバイザー:**  
新聞記事の見出しは「非常に快適」カポネは「豪華な独房の中にいる」と報道しています。さて、左側にある独房を見てください。私たちは、その新聞記事のとおり独房を復元しました。

**俳優:**

「部屋全体は、磨き上げた机の上に立っている卓上スタンドの光の中で覆われていた。かつての部屋の冷酷な壁には、趣味のよい絵

画が掛けられ、ワルツの旋律が、こぎれいな設計と素晴らしい仕上げの強力なキャビネット・ラジオから流れていました。」

フィラデルフィア公原簿, 1929

**マット・マーフィ、ツアープログラム・スーパーバイザー:**  
なぜカポネがこの特例を受けられたかわかっていません。彼の逮捕はシカゴで集団暴行の増加した時代でした。カポネが敵から逃れるために投獄をあえて準備したという説もあります。

**ラティーフ・オークマン、ツアーガイド:**  
私たちはこの話を信じたことはありません。彼はイースタン州立刑務所から出ようと、多くのお金を使い、またフィラデルフィアでの服役生活をいつも否定していました。

**マット・マーフィ、ツアープログラム・スーパーバイザー:**  
この独房の向こうに、アル・カポネのイースタン州立刑務所からの釈放に関するガイドのオーディオ装置があります。

**ラティーフ・オークマン、ツアーガイド:**  
それは一つの物語です。

#### 40. イースタン州立刑務所で出生

**ヘンリー・エンクラー:**  
私は87歳です。6月に、私は88歳になります。私はイースタン州立刑務所で生まれました。私がもし有罪判決を受けたら、すでに刑務所の中で約7年を過ごしたことが算入されるのでしょうか？[笑い]認められないでしょうね。

私はかつてはすべての囚人の独房に出入りしていました。またエクササイズにいっしょについて庭に出ていましたエクササイズは

名ばかりでした。彼らはぼんやり立っていて話していました。また、私は外出し、囚人と歩き回っていました。

ある人が「畜生その子供は誰だ?」

他の囚人は言います。「監視員の孫です。触れないほうがいいよ。」

彼はほぼ正しかったのでした。私は代理監視員の孫でした。私はかつては行きたいところならどこでも、刑務所を歩き回っていました。ただ一つの立入禁止区域は、料理とベーカリーエリアなどで下。これは立入禁止区域でした。ですが私は祖父がセンターと呼んだ場所で多くの時間を費やしました。私はかつてはそこにはまっていました。また、私はセンターで看守を真似て振り返ったり、見回したりしていました。また、私は、部屋の真ん中でスタンドに立ち、同じことをしていました。私は、重要人物(笑)であると思いました。

## 41. 収容

### ドナルド・ヴォーン、看守:

私の名前はドナルド・ヴォーンです。私は現在グレーターフォード州刑務所の最高責任者です。イースタン州立刑務所は私が1966年に更生業務の職業生活を始めた場所です。

収容者が夜に来た時は郡保安官、フィラデルフィア保安官、モントゴメリー郡保安官が付き添っていました。判決が収容者に下され、郡刑務所から同じ日に移送されました。私たちはそれらの指紋をとり、体の特徴を記入します。

常に私にとってやりにくい業務がありました。黒人が入ってきた時、私たちは自動的に一部のブロックをチェックすることになっていました。目の色にかかわらず「えび茶色の目」です。また、髪は「羊毛状」です。私は、一度に上司に質問したことを覚えています。彼は、「私たちができることはありません。」と言いました。これが方法です。これは手続きです。これがあなたが行わなければならないことです。」

私は、「羊毛状ではありません。」と言いました。彼の髪はカーン状です。」

「書式は『羊毛状』とかいてあるので私たちはこれにチェックするのはです」と言われました。

## 42. 囚人運動場

**サリー・エルク、理事:**  
理事のサリー・エルクです。

**ジョージ・ダンテ:**  
私はジョージ・ダンテです。庭の復元プロジェクトディレクターです。

**サリー・エルク、理事:**  
現在、もとの刑務所の最後の残存する戸外の囚人運動場にいます。すべての側にある高さ10フィートの壁、および独房へつながる小さな戸口に注意してください。開くと木製ドアおよび金属格子戸の両方があります。囚人運動場はほぼ独房と同じサイズです。東部の州の建築家ジョン・アビランドが刑務所を設計した時、彼は、外気に絶えず囚人をさらすことによって刑務所の疾病を防ぐことができるという新しい考えを取り入れました。初期の地下牢

獄および湿った刑務所と異なり、イースタン州立刑務所は健康を保証するために構築されました。隣接した囚人が同時に庭に出ないようになっていました。思い出してください、システムは静寂のために構築されていました。政府は囚人が互いと会話できないようにするために熱心でした。

### ジョージ・ダンテ:

囚人が庭から逃げようとしたことがあるかどうかと思うかもしれませんが。はい。ありました。しかしながら、高さ30フィートの周囲壁がたちはだかっていました。

数年で独房監禁が終わっても、庭は運動に使用され続けました。囚人がペットを飼うことができ、庭で花と野菜を植えることができたという記録も伝説もあります。

独房が1913年に公式に放棄された時、庭の間の壁は取り外され、屋根が付けられました。この庭は主に工房として使われていました。過去2度の夏に、1830年代度同じ庭を復興するために、私は15人のボランティア学生と作業をしました。多くの変更が除去されました。私たちは木材およびこけら葺、壁の上のキャップ、ドアを復元しました。私たちのウェブサイトでは、このプロジェクトや、私たちの回復プロジェクトのすべてについての外により多くの情報を見つけることができます。

## 43. イースタン州立刑務所の女囚

### ケリー・オターソン、ツアー・プログラマナー:

私の名前はケリー・オターソンです。私は、イースタン州立刑務所のツアー・プログラマナーです。

今日、ほとんどの刑務所は性別によって分離されています。ビジターはよく男性・女性の収容者が1つの刑務所にいたことで驚いています。実際、始めからイースタン州立刑務所に収容された女囚はわずかでした。みな同じタイプの犯罪の判決で、同様の実刑判決を受けていました。

最初の女性服役者エイミー・ロジャーズは殺人で3年の刑が宣告されました。彼女はイースタン州立刑務所が開いた後わずか2年弱の1831年に収容されました。彼女は収容者No.73でした。

初期の数年で、ほとんどの男性の収容者は、独房で、靴製造業および椅子づくりのような作業で静かに働いていました。しかし、女性の収容者は、洗濯および料理など家事を一般に割り当てられました。

1836年までに、女性の収容者の数は19まで増大しました。同じ年に、女性は、監獄棟7の上階あるいは「ギャラリー」に移動されました。この場所です。見上げれば、女性がこの監獄棟の一階のキッチンで働きレールを見上げる様子を想像できるかもしれません。

刑務所の記録は、何人かの男性の収容者が女性の存在に気づいていたことを示します。1つの例では、監獄棟6の男性の囚人が天窓を通過して女性服役者を訪れ、懲罰を受けました。

管理者は、注意深く女性囚人の収容時の妊娠の有無を記録していました。また、女性囚人のうちの数人は獄中出産しました。刑務所の記録は、収容者キャロライン・スウィーニーが1849年にイースタン州立刑務所で生まれた5歳の息子とここに一緒に住んでいたとしています。また、収容者2741の生まれたての息子は、母親の依頼で包皮切開の儀式を行いました。

20世紀の初年度に、エルシー・マケンティは家族とイースタン州立刑務所の城のような管理棟と一緒に住んでいました。彼女の父親は監視員でした。彼女は仲がよい1人の収容者で、ホームワークを手伝う「ナニー」と呼んだ女性を回想します：

**エルシー・マケンティ・ハウ、監視員の子ども：**

「ナニー」と呼んでいた有色人種の女性がいました。彼女は終身囚でした。彼女はかつては私の勉強を手伝ってくれました。彼女は美しく素晴らしい教育を持っていました。

**ケリー・オターソン、ツアー・プログラムマネージャー：**

ナニーは結局自由を得て、エルシーの刑務所の内部で結婚式に参列するために数年後に戻ってきました。

ペンシルバニア州は、のちにペンシルバニア中部で女性のための刑務所マンシーを構築しました。夫を中毒死させ有罪判決を下されたイースタン州立刑務所の最後の女性収容者フリーダ・トロストは、1923年にマンシーに移送されました。イースタン州立刑務所は男性のための刑務所に戻りましたが、ある意味では、ほとんど変わりませんでした。女性は、92年間ここで収容されていましたが、収容者人口のごく一部分でしかありませんでした。実際、これらの壁の内にいた女性はのべ数百人のみでした。

今日、男性の収容者は全国的に女性に数で圧倒していますが、女性の有罪宣告率は劇的に増加しています。ペンシルバニアは1982年に第二の女性刑務所を加えました。

## 44. PRISON RIOTS

**フランシス・ドラン、ツアープログラムの副ディレクター：**

私は、イースタン州立刑務所ツアープログラムおよびサイトオペレーションの副ディレクター、フランシス・ドランです。

収容者の暴力はほとんどの刑務所で問題となっており、イースタン州立刑務所も例外ではありませんでした。初期の時期、この囚人は独房で暮らしていました。したがって、暴力は看守に対する個人攻撃のみでした。しかし、時間にわたってそのシステムが緩み、監獄棟は、収容者であふれました。

グループの収容者の脅威の高まりに応じて、刑務所では各監獄棟の終わりにヘッドゲートが設置されました。このアル・カポネの廊下の終わりにある独房の近くでそれらを見ることができます。ヘッドゲートは、暴動を起こす囚人を小さなエリアに閉じ込めるように設計されました。これらの監獄棟の内部で働く職員は、ゲートの鍵を持っておらず、ゲートは武器なしで囚人と職員が一緒に閉じ込められました。

1960年代までに、イースタン州立刑務所は高齢化が進み建物も劣化しましたが、静かな機関としてのその評判は途絶えようとしていました。1961年1月8日の夜に、監獄棟9のこの廊下収容者は、イースタン州立刑務所で史上最大の暴動を始めました。収容者ジョン・クラウセンベルグはもう一人の収容者からギターを取り戻すと看守騙して彼の独房を開かせました。最初に、2人は看守を殴り倒し、その他の監獄棟の独房を開け始めました。多数の収容者が、8人の職員を人質をとり、手製のナイフで2人を刺しましたが、結局解放されました。彼らはいくつかの監獄棟を制圧し、さらに記録室に火を付け、犯罪ファイルを消すことを試みようとしていました:

**ジョン・マクロー、収容者 :**

私は監獄棟4にいました。私が常に実際の刑務所暴動を見たのは初めてのことでした。誰も状況をコントロールすることができませんでした。皆が自由でした。蹴ったり、破壊したり、...

#### フランシス・ドラム ツアープログラム副ディレクター

職員は準備されていきました。イースタン州立刑務所には暴動に対処する「刑務所脱走対策」がありました。この作戦が発動されました。数百もの地方の警察および消防士が、刑務所のまわりの6つのブロック半径を警備しました。その後、催涙ガスと警棒を持った州警察官およびイースタン州立刑務所看守が、正面ゲートに入りました。彼らは、系統的に一度に1つの監獄棟ずつ移動し建物の安全を取り戻しました:

#### リチャード・パーセル、看守:

私たちが入った時、火がまわって煙かったのです。多くの収容者が、薬局の薬を求めて走っていました;しかし、私たちがガレージに入るまで、物理的な対決はあまりありませんでした。ガレージで職員が人質にとられていました。

#### フランシス・ドラム ツアープログラム副ディレクター

刑務所への広範囲な損害と多数の負傷者がでましたが、惨事はありませんでした。調査に続いて、ペンシルバニア司法長官はイースタン州立刑務所は「旧式、脆弱、そして都市に住んでいる皆にとっての危険」として閉鎖を急ぐことを推奨しました。ペンシルバニア州は1970年にイースタン州立刑務所を閉鎖しました。141年がたっていました。

## 45. ジョージ・ノーマン

#### ショーン・ケリー、プログラム・ディレクター:

イースタン州立刑務所の収容者は、自由に関して非常に多くを考えていました。しかしジョージ・ノーマンにとって自由は特に大きな意味を持っていました。ジョージ・ノーマンは妻が奴隷制度回避を支援したかどでイースタン州立刑務所に投獄されました。

私はショーン・ケリー、プログラム・ディレクターです。

ジョージ・ノーマンは、1840年代の終わりにカーライル・ペンシルバニアで暮らしていた自由な黒人の男でした。彼は自由でしたが、彼の妻ヘスターはメリーランドから約50マイル遠方で奴隷にされていました。ヘスターは、2人のその他奴隷、ある父親および10歳の彼の娘といっしょに所有者から逃れ北に逃亡しました。3人は、「地下鉄」と呼ばれる隠れ家のネットワークを移動しました。

彼らは奴隷制度のないペンシルバニア州を経て、結局カーライルまでたどりつきました。ここにヘスターの夫ジョージがいました。しかし、奴隷所有主が彼らを追ってきました。1847年6月2日に、ヘスターの元所有者は3人を捕らえて、郡拘置所に収監しました。

カーライルの自由な黒人社会の多くのメンバーが、逃げた奴隷が北に到着すれば自由になれると信じていました。しかし、法は、黒人を守るようには見えませんでした。ペンシルバニアは奴隷制度を認めていませんでしたが、奴隷所有主は多くの場合南部に逃亡奴隷を奪還し、戻すことができました。

裁判官が事件を調査している間、郡庁舎には自由な黒人の男性および女性が大勢集まりました。群衆の中には、ジョージ・ノーマンがいました。ヘスターは今、拘置所の中にいました。白人の教授が到着しました。新しいペンシルバニア法では、逃げた奴隷と

は連邦政府の問題にし、たがって、州裁判所には、それらを保持する権限がないと法廷に通知しました。裁判官は、奴隷所有主を支持し、群衆は暴動を起こしました。

法廷から、外の通りで、抗議者は、ヘスターとその他奴隷を解放することを要求しました。口論が噴出しました。激しい暴行が行われました。ジョージ・ノーマンは妻をつれて逃げました群衆の中の女性が若い少女を囲み、彼女を引き離しました。ヘスターと少女は、群衆と裏通りへ移動し、奴隷所有主のうちの1人が追ってきました。群衆は彼に敵意を示し、彼を暴行しました。

3人目の逃亡奴隷、若い少女の父親は逃げませんでした。彼はメリーランドで奴隷制度に戻されました。ヘスターと少女は逃げましたが、自由は高い代償がありました:ヘスターの夫ジョージおよび10人のその他自由な黒人の男性にイースタン州立刑務所で3年間の労役と独房が宣告されました。

彼の妻を自由にする際に、ジョージ・ノーマンは自由を失いました。

ジョージ・ノーマンのころのこの建物について何がわかっているでしょうか。余り多くはありません。イースタン州立刑務所のわずかの記録の1つは、刑務所のモラル・インストラクターのもので、「[ジョージ・ノーマン]は、自己を弁護していた。」しかしながら、黒人は特に困難であったと考えることができます。刑期の前に、アフリカ系アメリカ人の囚人の7パーセントが死んでおり、これは白人の収容者よりはるかに高い割合でした。

カーライルの囚人が刑期を無事終わられるとは限りませんでした。ペンシルバニア州最高裁判所はイースタン州立刑務所での刑期が厳しすぎると判決しました。壁の内に9か月服役した後に、11

人みなが解放されました。彼らは自由でした。

ジョージ・ノーマンが彼の妻ヘスターと再開できたかどうかわかっていません。私たちは、それらが新しい自由をともに楽しむことができたかどうかを知りません。しかし、この物語は、自由を求める個人、およびコミュニティーのメンバーについて私たちに伝えます。

この主題についての広範囲な研究で協力をいただいたジェニファー・コーヴァルの協力に感謝します。

## 47. その他の不在

**シンディー・ストックトン・ムーア、アーティスト:**

こんにちは、私の名前はシンディー・ストックトン・ムーアです。私の作品の名前は「その他の不在」です。これらの50の肖像は殺害された男性、女性、および子供たちです。殺害者は後にイースタン州立刑務所で投獄されました。このスペースで、私はまず、ここで投獄されたことを想像し、また刑務所を出てからは、何人かの人々がこの中にいた理由に関して考え始めました。また、私は異なる視点を導入したかったのです。物語の多くは異なる方法であらわれていました。

左側の独房に入ると、中央の頭上に、エリス・シモンスの肖像があります。彼の肖像はわずかにより大きく、彼は、第1列の中心にいます。彼は12歳でした。彼は、化学実験用品一式を見せるともちかけられ、16歳の少年によって招待され、はさみで刺し殺されたのです。

このプロジェクトで起こっているこのほかのレベルの不在は、人種、階級、その他の私が見つけることができなかった顔のすべて

です。その物語は伝わっていません。見つかった有色人種の犠牲者は3人だけで、それらのうちの1人がヘレナ・デイビスです。彼女は3番目の列に戻り、左側からの2番目で、教会帽子をかぶっています。彼女は求婚者によって、結婚を拒絶したために殺されました。彼女は教会で礼拝中に死にました。彼女はまだ結婚しており、宗教上の理由で彼女は彼と結婚しようとしませんでした。彼は直ちに警察に出頭し、愛していた女性をちょうど殺したとして錯乱していました。

## 48. GTMO

**ビル・クローマー、アーティスト:**

私の名前はビル・クローマーです。また、私がここに持っている文書のタイトルはGTMOです。これはグアンタナモ湾用の軍事速記です。グアンタナモ湾で構築されたキャンプの名前はキャンプXレイでした。イースタン州立刑務所独房の内部で見られる独房は、私が作った、その正確な複製です。正確に同じサイズです。キャンプX線の現在はない独房も同じ材料を使っていました。

2つの独房は大きく異なっていました。1つは非常に強固です。1つは重い不透明な石で作られています。1つはほとんど何もなく、チェーンリンクフェンスでした。しかし私は両方とも同じことを考えていると思います。それらは両方とも投獄を目的としています。それらは両方とも人を拘束します。しかし手段は非常に異なります。両方の場所は、ある方法で、あるレベルで、人の善意についての考えを表わします。

こんにちは。ふたたびビル・クローマーです。設置以来GTMOでは多くのことが起こったように見えます。しかし何も起きていな

いようにも見えます。GTMOのガイドを訊くには「49」および緑の「再生」ボタンを押します。

## 49. 今日のGTMO

**オマル・ファラー:**

私の名前はオマル・ファラーです。私は憲法人権擁護センターの弁護士です。また、私は、グアンタナモ湾で現在の拘留者のうちの7人を弁護しています。

キャンプXレイのインスタレーションを見て、グアンタナモがその時点では短命な実験であると思われたと信じるのは簡単です。また10年におよび、インスタレーションは、1個の歴史のように見えます。これほど多くのインフラストラクチャーがあり、グアンタナモのまわりのキャンプおよびそのエリアに非常に多くのリソースと人が集められています。それは、この塹壕のある収監モデルが、どのように私たちの政治的風土に取り込まれたかを実際に教えてくれます。

私は、仕事でグアンタナモへ約3か月ごとに出張しています。いつも大変つらい経験です。刑務所は陰気で、難度でも着くたびに胃の穴があくような心配を感じます。同時に、長年弁護した囚人と直接会って気遣う機会の一つです。

数か月で、多くの囚人に希望を抱かせるに信じられない2つの種類の展開がありました。両方とも実現しませんでした。2008年の夏に、最高裁判所は、ボメンディエヌとブッシュの裁判で画期的な判決を下しました。恐らく法廷の史上最短の画期的な判決でした。これは囚人に連邦裁判所の人身保護令状訴訟手続きを通じてそれらの拘留に異議を申し立てる権利を与えました。初期の数か

月で、ボメンディエヌ判決が下された後、囚人は圧倒する数の人身保護令状請願を勝ち取っていました。また、連邦裁判所から出た決定のうちのいくつかは痛烈でした。また、その後、大統領がオフィスに戻るや、翌日には刑務所に閉鎖命令が出されました。その時以来、最高裁判所は、介入を拒否し、ワシントンDCの目の前の巡回裁判所を開くことを拒絶しました。この裁判は、ボメンディエヌ決定を無効にしたのです。

例を挙げるために、DCの巡回裁判では、囚人には仮定をくつがえす能力がなければグアンタナモの囚人に不利な政府証拠が正確であると推定されると裁決しました。実際的には、これは政府が法廷に入る前に滑手を認めたも同然です。

また、その後、大統領の約束もほごになりました。刑務所を閉じる命令の一部として、移送が承認されるべきかどうか判断するか、軍法委員会システムで裁判を行うか、第3カテゴリーの無期限拘留を行うか、囚人に関してすべての政府機関による調査を行うことが命じられました。それ自体が不公平ですが、これらは囚人が得られる3つの選択肢です。

圧倒的多数で、移転が承認された囚人は、86人です。現在166人が残っています。グアンタナモ拘留者にかかわる国家安保委員会および法執行機関によって満場一致で移転が承認され、移送以来の刑期はすべて3年以上になります。

私の目標は彼らの目標ですが、悲劇的なことに、希望は小さくなっています。明文の釈放や家族との再会から、希望を保つため、心理、身体を維持する方法どのように無一文から自活するか多くの基本的問題のケアが必要です。

グアンタナモでの改良には奇妙な暗い影があります。国防総省が囚人に運動させる方法を増やすためにサッカー・フィールドを構築した時、国防総省はグアンタナモの改良のモデルとしていました。確かに、囚人代表として、私は日々の状態の改善を賞賛します。しかし、同時に、グアンタナモで起こっている不正が正当されていることも示します。つまり、11年たった今も、実際に解決が見えていないのです。

ショーン・ケリー、インタープリテーションディレクター：  
芸術家ウィリアム・クローマーによる2004年のインスタレーション、GTMOについての解説を聞く場合は、ここで「48」および緑の「再生」ボタンを押してください。

## 50. シドニー・ウェア

ニック・ジレット、ツアーガイド：  
私はイースタン州立刑務所ツアーガイドのニック・ジレットです。ある囚人が100年以上前に後に残した、美しい作品を通じて彼の考え方を伝えたいと思います。

囚人がペンシルバニア、ハリスバーグの近くの大広間でカードのゲームで口論し、酔って2人の炭鉱夫仲間を撃ち殺した時、シドニー・ウェアは20代の初めでした。彼は最初の殺人で死んだモーリス・ミラーについて絞首刑宣告されました。しかし、彼は、終身刑に死刑宣告を減刑するようにペンシルバニアの知事を説得しました。

彼は1891年の1月にイースタン州立刑務所に着きました。誰に聞いても、シドニー・ウェアは模範囚でした。彼は詩と音楽でも注目すべき才能を示しました。しかし、刑務所壁の内部の、および

壁の外側で最も多くの賞賛を引き寄せたのは美術品でした。ここで、シドニー・ウェアは、刑務所の看守のために、刑務所統計の何百もの図表を書きました。図表は、囚人内訳、毎日の人数、収容者人口統計から犯罪内容まですべてをカバーしました。しかし、イラストは、収容者のより暗い展望を反映するように見えます。ページのまわりにはチェーンがあります。悲痛な顔は図表の上の刑務所の棒を通して凝視しています。収容者の図表で酒場の場面を描く彼のイラストは、さらに彼自身の犯罪への言及でもあります。

1911年には、シドニー・ウェアは、最初の殺人についての恩赦をペンシルバニアの知事に請願し認められました。彼は、この刑務所の正面の門を歩いて出ましたが、最初の自動車を見て、酒場でフレデリック・キンドラーを殺した第2の人の殺人で速やかに再逮捕されました。法廷への著しい嘆願の後、シドニー・ウェアは第2の殺人を許されました;1911年11月に、彼は自由になりました。

シドニー・ウェアは、フィラデルフィアで暮らし、結婚し、画家とイラストレーターとして生計を立てました。しかし、異様な絵入りの図表のセットはイースタン州立刑務所のオフィスに残されました。ペンシルバニア州の公記録保管所はこの図表を保存し、今日も残っています。

## 51.スペシメン

**グレッグ・クーパー、アーティスト:**

私の名前はグレッグ・クーパーです。私は、ここフィラデルフィアで自然科学アカデミーの昆虫学部の助手です。

私の作品のタイトルは「スペシメン」です。イースタン州立刑務所で集められた昆虫およびいくつかの動物相の珍しい標本です。私がヘンリー・スキナーによる記事を読んだとき、彼の考えは私の思考にしみ通りました。スキナーは1800年代終わりおよび1900年代の初めの医師で、昆虫学の学芸員でした。彼は恐らく1889年の夏にイースタン州立刑務所を訪れました。また、彼の言葉を使えば、囚人運動場の中で昆虫コレクションを作る収容者を発見して、彼は「屈辱を感じました。」もちろん、彼が屈辱を感じた理由は彼が昆虫学者だったからでしたが、イースタン州立刑務所に行き着くために昆虫学者がある種類の犯罪を犯すことはできませんでした。

これまでのところ、私は約500の標本を集めました。その500の標本のうち、150は異なる種であることがわかっています。ヘンリー・スキナーが書いた、既に実際に収容者が集めた18種の標本を超えています。しかし、私は、さらに4月から11月まで昆虫を集め続けます。これは絶えず増加し、発展するでしょう - したがって、これはパフォーマンス作品です。

## 52. 合唱

**ジェス・パーリッツ、アーティスト:**

私の名前はジェス・パーリッツです。作品のタイトルは「合唱」です。

私は、アメリカの様々な刑務所をまわって、「歌を歌うことができ、歌を聞くことができたたらどうでしょう。」と人々に伝え、監獄で合唱を録音してきました。

私の作品は独房にあります。歌声も録音されています。1の歌声は美しいバラッドです。そしてその数秒後に、別の声がスタートします。また、その後、別の声がスタートします。また、その後、より多くの音声が加えられ、スペースを驚異的に圧倒し、音声の不協和音が互いに重なり、ほとんど耐えられないほどになります。

独房の歴史を考え、囚人は静寂で神と向き合いながら、狂気にさらされてきました。人々を助けるための仕組みが恐ろしいものになったことを表したいと思ったのです。

### 53.リリー法に注意

**ミッシェル・ハンデルマン、アーティスト:**

私の名前はミッシェル・ハンデルマンです。私はビデオ芸術家で、作品の名前は「リリー法に注意」です。

作品は1969年に起こったストーンウォール暴動をモデルにしています。現代のゲイ・ライツ・ムーブメントの始まりでした。私は、トランスジェンダーの囚人と独房の内部の体験を共有したいと考えました。私は、多くの性別に渡る、トランスジェンダーの囚人からの体験を聞き取り、3つの別個のスク립トにえり分けて、3人の刑務所関係者に参加してもらいました。パフォーマーとして演じていても、服役中のことや、拘束されていた親しい人から物語を聞くことと緊密なつながりを持っています。

むりやり男性にされている、トランスジェンダーの女性が逮捕され、男性の刑務所に突然入ることを想像してください。非常に不快で危険な状況です。

## 55. イースタン州立刑務所の少年犯罪者

**ローレン・ザリュット、教育およびツアー・プログラムディレクター:**

私は、ローレン・ザリュットです。イースタン州立刑務所の教育およびツアー・プログラムディレクターです。今日、刑務所に送られたほとんどの少年が少年拘留設備で拘留されていますが、かつてはそうではありませんでした。11才でさえ、重警備の成人の刑務所であるイースタン州立刑務所で服役しました。

このサインにメアリー・アッシュの画像を見ることができます。彼女の写像はないため、これはイラストです。いつか写像が見つかるとういと思ひます。私は、メアリーの物語は特に胸が張り裂けるものだと思ひます。彼女は放火の有罪判決を下され、1876年にイースタン州立刑務所に着きました。まだ11才でした。メアリーは多くの囚人のように、結核にたおれました。彼女は、13歳でここで死にました。

今日、アメリカ中で約48,000人の少年が少年拘留所に収監され、さらに5,000人が成人刑務所に収容されています。元イースタン州立刑務所ツアーガイド、ラッセル・クレイグが今日の少年拘留についての見解を共有します。

**ラッセル・クレイグ、前ツアーガイド:**

グループホーム、児童養護施設、刑務所、障害者以外のすべてグループがいました。学校へ行っていないとわかると、彼らは私を閉じ込めました。したがって、それは犯罪に似ていました。無断欠席。

また、その後、私がみなしごでありホームレスとわかりました。私はそこにとどまることになりました。恐らく9か月程度の予定で、いつのまにか3年くらいになりました。

少年拘置所刑務所は実際の刑務所に似ていますがもっと若いです。だまされ、衣服を変えさせられ、独房に閉じ込められます。ベッドは同じでした。戦いのように互いと取り引きしていました。それらは同じものでした。チェス、チェッカー、バスケットボール。腕立て伏せなど、私が言っていることがわかりますか。少年拘置所刑務所は実際の刑務所に似ていますが、それは小さな子供向けです。

既に知っているように、私はイースタン州立刑務所のツアーガイドでもありました。いま、私はアーティストです。私は少年犯罪者たちと作品を作ります。また、私は、今ちょうど見ているメアリー・アッシュの絵を描きました。

## 57. APOKALUPTTEIN:16389067:II

ジェシー・クライムズ、アーティスト：

私の名前はジェシー・クライムズで、非暴力の薬物使用で70か月の刑に服した連邦刑務所から最近解放されました。ほとんど6年です。また、私は、服役中Apokaluptein:16389067を制作しました。

私は、刑務所シート上のこれらの画像を写すことから始めました。私は、コミッサリ-から購入したヘアージェルを使って画像を転写するために、シートの上にヘアージェルを置きました。その後、ニューヨークタイムズから絵を切りとって、シートの上へのせ、プラスチック・ス

プーンをとり、イメージの表面にシートの裏を押しつけ、その後イメージを剥がすと、シートに逆さまの跡が残ります。

したがって、これらの作品は実際に禁止され、問題になる可能性があります。だから、私は秘密に制作を続けました。また1枚のパネルを作り、終わるとすぐに郵送してしまったので、全部分を一度に見ることはできませんでした。39枚のシートにわかれたセクションで作られていました。私が帰宅してすべてを見た時、これらが調和するかの頭の中で構想していました。

これはオリジナルを反復し、高さ15フィートおよび長く40フィートで、39の刑務所シートから構成されています。オリジナルのApokalupteinを再現し、オリジナルと同じ転写加工を使用して、この独房に設置されています。

独房は3つのセクションに分割されます。底部は地獄の表現です。中央のセクションは地球です。また、最上部のセクションは天国です。天国の場面は、独房のアーキテクチャーに続き、神の目のアーチ、あるいは天窓に入っていきます。

イースタン州立刑務所でのこの作品この作品の最後の反復のように感じられます。作品を完成すると満足感を覚えます。..私はついにプロジェクトを完了しました。

**シヨーン・ケリー、インタープリテーションディレクター：**  
連邦刑務所の壁の中にいる間、ジェシー・クライムズがこの大きな作品を作った話は、素晴らしいモノです。もっとガイドを聞く場合は、「58」と「再生」ボタンを押してください。

## 58. APOKALUPTTEIN:16389067:II (延長)

シヨン・ケリー、インタープリテーションディレクター：  
ジェシーのすばらしい物語からはさまざまな疑問が生まれます。  
例えば、彼が、どのように連邦刑務所の内部でニューヨークタイムズを手に入れることができたかなどです。ジェシーの答えを聞きましょう：

ジェシー・クライムズ、アーティスト：  
サンデータイムズを取ってくれた友達がありました。したがって、私は、毎週日曜日にサンデータイムズを読むことができました。刑務所では、さらにニューヨークタイムズ一週間分が提供されていました。ただ一つの問題は毎日使えるのが1紙だけということで、コンパウンドに2,000人以上が描かれています。通常は図書館へ行きます。1日図書館で公開された新聞は、何年もかけて作られたリストの最初の人に払い下げられます。リストに載るにはお金を払います。

私はあまりお金を持っておらず支払いもできません。したがって、私は、ちょうど自動的にリストの最後でした。他の人すべてがニューヨークタイムズを読み終えてから私にまわってきます。私はそれをカットし、画材にしていました。はい、非常に遅い情報ですが、毎週の日曜にはサンデータイムズがきました。それらは新しく、ほとんどのイメージを得ていました。また、インク転写も、何千もの人々が手にしたものよりくっきりとした画像が得られます。

私は、刑務所シート上のこれらの画像を写すことから始めました。最初に、私自身のシートからセクションをはぎ取っていました。しかし、その後、プロジェクトが大きくなり、クリーニング屋部で働いた友達から、それらを不法に購入し始めました。

私は他の囚人に芸術を教え始めました。この過程で、レクリエーション・スタッフとつながりができ、ある種の間関係を深めて、Blickカタログからの材料を注文できるようになりました。クラスで使うような紙、鉛筆、絵の具、キャンバスおよび私たちが必要とするすべての材料です。私は、Blickにダック布キャンバスを1ロール注文しました:実際にそれを使用する意図はなく、私は、ラベルだけを取り除き、絵を描いている友達にキャンバスをあげました。そして、次にシートをとれることがわかり、ロールを押しもどし、次に、キャンバス・ラベルを置きました。彼らが入ってきた場合、シートはBlickを通じて購入されたと実際に思うでしょう:彼らは、これはキャンバスであると思っていました。

私は、実際に看守にこのことを少し伝えました。「私はこんなことをしています。」私がそれらを伝えた時、本当に私の作品を気に入ってくれ、看守も支持するようになりました。看守は実際に興味を持っていました。私を尋ねてきてくれ、作っていたパネルに関して話しました。なぜある像を選んでいるか、なぜ私はそれをしているのかなどです。私は看守との交流で人間性を獲得しました。また、看守ちの1人は実際にそうしていました。彼はスタッフ・ロッカーの中に私の作品を保管することを始めました。別の看守がやって来て、検査を始めれば、ロッカーで私の絵を見つけ、没収するでしょう。完成まで絵を保存できる、安全が保証された場所に似ていました。

## 59. アル・カポネの独房（更新！）

ショーン・ケリー、インタープリテーションディレクター：  
 こんにちは、ショーン・ケリーです。私は、イースタン州立刑務所のインタープリテーションディレクターです。

最近、私たちは、アル・カポネのイースタン州立刑務所の待遇が少し誇張されたかのではと思い始めました。

はい、サインで見ることができるよう、いくつかの新聞は彼が特例を得ていると報道しました。しかしながら、私たちのスタッフはその他の史料を発見しており、こうした報道は疑わしいものとなっています。あるドキュメントは、アル・カポネが独房の前の囚人から装飾的なラジオを買ったと言っています。恐らく、ラジオはイースタン州立刑務所ではあまり珍しくなかったのでしょうか？別のドキュメントはカポネの同室者を指します。つまり見知らぬ人と共有している独房を豪華にすることはできないのではないのでしょうか。

リポーターには誇張するべき十分な理由がありました。彼らは、結局新聞を売ろうとしていました。

では、アル・カポネは、イースタン州立刑務所でぜいたくな生活を送っていたのでしょうか、それとも、彼は単に典型的な収容者だったのでしょうか。私たちは真実は中間だと思うようになりました。

少なくとも、私たちは今のところこう考えています。歴史は常に変わる奇妙なものです。

## 60. LGBTQの反映

アニー・アンダーソン、マネージャー、研究および公共プログラミング:

こんにちは。アニー・アンダーソンです。私はイースタン州立刑務所のリサーチャーです。

数年前に、私たちは今日ではレズビアン、ゲイ、両性愛、トランスジェンダー、あるいはクイアーとされるような囚人の記録の文書化を始めました。

1881年にイースタン州立刑務所に移送されたアイザック・ホールは魅力的な文書の足跡を残しました。ホールは、ソドミーでイースタン州立刑務所に投獄されたおよそ500人のうちの1人でした - これはしばしば同性のメンバー間での性交を有罪とする曖昧な用語です。ホールは厳しい刑を受けました: 記録は100ドルの罰金、8年間の独房監禁です。罪名は男のパートナーとの合意の上のセックスでした。

完全な筆記体の筆跡で、ホールのすべての法廷ドキュメントおよび刑務所記録の名前の隣には別名「レディワシントン」と書かれています。ここでホールの署名された起訴状案を見ることができます。

フィラデルフィア・インクワイアラーは、ホールが「女性をまねる」ということで、愛称を持っていることを報告しました。イースタン州立刑務所監視員マイケル・キャシディーは、ホールが「レディワシントンとして暮らし、ソドミー中毒者であることは疑いがない」と書きました。

私は、これらのドキュメントを調査し「レディワシントンはゲイの男性あるいはトランスジェンダー女性だった」と思いはじめました。

アイザック・ホールは、多くのLGBTQの囚人のうちの1人です。

私たちは、これらの囚人の一部が投獄中に性的暴行を経験したことを知っています。しかし、少なくとも数人は、心からの愛情お

よび親密さを見つけたように見えます。

1940年の記録では、監視員ハーバート・スミスは、囚人仲間エドワード・ニコルズの報告に拠れば、囚人ハリー・ルガールが密着してキスをする「不自然な関係の疑いがある」と報告したと書きました。

スミスおよびその他刑務所の職員は、ジェンダー不一致および同性活動を「不道徳」「不謹慎」、「不潔な」、また退化したとしました。

これらの歴史的な物語の研究からは、今日のLGBTQの囚人の体験を記録している人がいるかどうか疑問がわいてきます。イースタン州立刑務所のレディワシントンの努力および忍耐については恐らく多くの複雑な物語があるでしょう。

## 61.

**イースタン州立刑務所の登攀ガイド、あるいは建物を登って脱獄する方法**

**アレグサンダー・ローゼンバーグ、アーティスト:**

私はアレグサンダー・ローゼンバーグです。このプロジェクトのタイトルはイースタン州立刑務所の登攀ガイド、あるいは建物を登って脱獄する方法です。

私のプロジェクトはイースタン州立刑務所の外壁に登ることについてです。ここではイースタン州立刑務所の脱獄を登攀ガイドのように紹介します。私は、盗犯を識別し、評価し、指定しガイドブックを作成します。

私が見ているガイドブックは典型的に、かなり低いプロダクション・バリューで、ほとんどがテキストです。

私は、収容者が参加する技術活動についての資料を読みました。椅子の座面を打つなどです。また、囚人は、これを壁を乗り越える装置を作る材料に使用しました。

昼間にこの壁を上る音は実際に記憶に残ります。私が庭に外にいるときは不気味なほど静かです。その後、トップに最後にたどりつけば信じられない瞬間があります。また、都市の音が戻ってきます。あたりを見回し、どこにいるか、この信じられない光景に気づくのです。また、私は壁をのぼり、その瞬間およびその種の音の変化を体験し、同じ方法で視界を見た人々のことが思い浮かびます。

## 62. 紙飛行機

**ベンジャミン・ウィル、アーティスト:**

私の名前はベン・ウィルです。私はローレンス、カンザスの出身で、投獄された人々に手紙を書き、紙飛行機を集めています。

私は2013年以來これらの紙飛行機を集めています。さまざまな州からの紙飛行機があります。また、男性と女性の両方が含まれます。

私はちょうど個人をあらわすものとして紙飛行機を見始めました。これらはすべて共通の特性を共有します。またすべて非常に信じられないほどに異なっているようにも見えます。

完成した作品は聖歌隊のように見えます。個人として自分のために伝えます。しかし、あわせると共有された多くの人からのメッセージができると思っています。

#### 64. 有名な収容者:ペップザドッグ（延長）

##### ディック・フルマー、更生カウンセラー:

こんにちは、再びディック・フルマーです。2003年に、後ろに、私たちがペップザドッグのイースタン州立刑務所への到着を記録した時、私は多くの調査で彼の存在を発見しました。また、その時以来4年にわたって、私はある研究を行い、私はペップがフィラデルフィアにイースタン州立刑務所にどのように着いたかの実話を見つけたと考えています。

私は、1924年に、ギフォード・ピンショー知事とイースタン州立刑務所の監視員ジョン・グルームの間で、知事が最近メイン州の知事が州の刑務所へ犬を寄贈したことを読んだと言った記録を見つけました。「ぜひよければ同じことをお願いします。」監視員の返答で、彼は「イースタン州立刑務所にも犬を寄贈すればきっとコミュニティに役立つでしょう。ぜひフィラデルフィアにも手配しましょう」と言っています。

これで、ペップは誰かの猫を殺害した汚名をすすげます。犯罪者ではなくゲストだったのです。

#### 67. 電気たこ

##### アイリーン・シュメート、アーティスト:

こんにちは、私はアイリーンです。

**ハイジ・ラタナヴァニチ、アーティスト:**

私はハイジです。

**マイケル・マケン、アーティスト:**

私はマイケルです。また、私たちはプロビショナルアイランドです。

**アイリーン・シュメート、アーティスト:**

この作品は「電氣的なたこ」と呼ばれます。

**マイケル・マケン、アーティスト:**

はい、監獄棟を通るメモのように、刑務所の通信手段に似ています。

**ハイジ・ラタナヴァニチ、アーティスト:**

私たちのプロジェクトは2つの独房の中に位置しています。

**アイリーン・シュメート、アーティスト:**

1つの独房では、本に置かれたコントラバンド発信機の複製があります。それは多くの囚人が自分で作った発信機を隠したことに似ています。

**マイケル・マケン、アーティスト:**

また向かい合う独房では、刑務所問題をクリアしたラジオがあります。ラジオで流れるものはすべて独房から放送されています。

**ハイジ・ラタナヴァニチ、アーティスト:**

囚人は見つかった資料によれば、これらの手製の発信機を作っていました。

**マイケル・マケン、アーティスト:**

私たちが見つけた最初のものはドイツの囚人のものでした。また、独房のこの発信機はレプリカです。ですが、電子機器やラジオを手に入れ、トランジスターおよびコンデンサーおよびコイル線などを使い、また基本的に非常に単純な発信機を作ることができました。

**アイリーン・シュメート、アーティスト:**

そして、独房内で通信するために使用するのです。刑務所内に起こっている事に関して互いに警告し、外部に関するプログラムを聞くのです。

**マイケル・マケン、アーティスト:**

刑務所の壁を通る電波種は自由を制限する壁を越えるのです。

**ハイジ・ラタナヴァニチ、アーティスト:**

独房へ入ってラジオを聴いてみてください。

## 68. ドリス・ジーン

**レイチェル・リヴダレン、アーティスト:**

こんにちは、私の名前はレイチェル・リヴダレンです。私は学際的な芸術家です。また、これは私の作品「ドリス・ジーン」です

。

ドリス・ジーンは裕福なフィラデルフィアの相続人でした。また、1955年には、彼女はオストライヒャー侯爵と出会い、出奔しました。出奔の2か月後に、ドリスは不幸な結婚の中で妊娠していました。また、彼は彼女を虐待しており、彼女が両親と住むためにフィラデルフィアに既に戻っていたという主張もありました

。

当時中絶は不法でした。したがって、彼女と母親はミルトンおよびロザリー・シュワルツのアパートで中絶しようとしてしまいました。ミルトンはバーテンで、ロザリーは美容師でした。ドリスは不運にも後に直ちに死にました。

バーテンおよび美容師ミルトンおよびロザリーは両方とも有罪判決を受けました。ミルトンは、イースタン州立刑務所で服役しました。

ドリスは22歳でした。また、新聞の切り抜きの多くが彼女を22年来の赤毛の美と評しています。

ドリスの母親ガートルード・シルバーは服役しませんでした。裁判官は、彼女がこれらのイベントから多くの精神的トラウマを持っていたと裁決しました。しかし、告白では、ドリス・ジーンの絶望と、彼女が娘を助けようとしていたことを説明します - 娘を保護するために何でもすることでしょう。

## 91. 壁の後ろの恐怖

**ブレット・ベルトリノ、オペレーションディレクター:**  
私はイースタン州立刑務所のオペレーションディレクター、ブレット・ベルトリノです。こんな格好でお許してください。私たちは、毎年ハロウィーン資金キャンペーンで、「壁の後ろの恐怖」を開催しています。日中は見学者を驚かさないうちにしていますが、設備および支柱は隠すことができません。

私たちの最初のハロウィーンイベントは1991年に開催されました。3年後まで、昼間刑務所ツアーは始まっておらず、初期のハロウィーンイベントで部分的に資金提供されました。今日、壁の後ろの恐怖は、最大かつもっとも洗練されたホラーアトラクシ

ヨンの1つになろうとしています。これは200を超える俳優およびハリウッドの特殊効果を特色とします。アメリカのトップ10の幽霊屋敷のうちの1つにノミネートされ続けています。また、それは十分な理由をもっています。「壁の後ろの恐怖」は史跡の唯一で最大の財源を供給します。これは刑務所の全建物の新しい屋根と、広範囲な防火抑制システムに資金提供しており、展覧品、インスタレーションおよびこのオーディオ旅行など作成することを可能にしました。

「壁の後ろの恐怖」はアメリカで最も怖い幽霊屋敷の1つであるだけではありません。この美しい魅力的な史跡の保全を支援しています。

**(END)**